

平成25年度 事業満足度調査アンケート
報告書

調査の概要

I. 調査の目的	1
II. 調査の実施要領	1
(1) 調査時期	1
(2) 調査対象	1
(3) 配布・回収	1
(4) 回収数、率	1
(5) 有効回収数、率	1
(6) 調査項目	1
III. 調査の集計・分析の考え方	1

調査結果

I. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年代別	3
(3) 校區別	3
II. 各事業の調査結果	4-35
III. 満足度一覧	36
(1) 性別・年代別	36
(2) 校區別	37
(3) 調査結果のまとめ	38
IV. 調査結果の反映について	38

参考資料

アンケート調査票	38
----------	----

調査の概要

I. 調査の目的

本調査は、市が行った事業に対する市民の皆さんの満足度を調査し、その結果を踏まえて事業の必要性、効率性、成果を評価・検証し、今後の事業展開に改善を加えながら、さらに「満足度」の高い市政運営を目指していくために実施しました。

II. 調査の実施要領

- (1) 調査時期 平成25年6月
- (2) 調査対象 18歳以上の市民4,000人（無作為抽出）
- (3) 配布・回収 郵送
- (4) 回収数、率 1,374票（34.4%）
- (5) 有効回収数、率 1,258票（31.5%）
- (6) 調査項目

平成24年度に実施した主な事業16事業について、「事業の必要性」、「今後この事業はどうすべきか（以下「事業の方向性」という。）」について、5択でお尋ねしました。

III. 調査の集計・分析の考え方

調査した16事業について、事業ごとに「事業の必要性」を縦軸、「事業の方向性」を横軸として、次ページの例に示すようにA欄からL欄に分けて集計しました。なお、集計は基本的に小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分率（%）の合計は100%にならないことがあります。

満足度の分析は、下図にあるように各欄に満足度ポイント（満足度の重み）を付加し、このポイントを加味した加重平均の値を満足度とすることとしました。

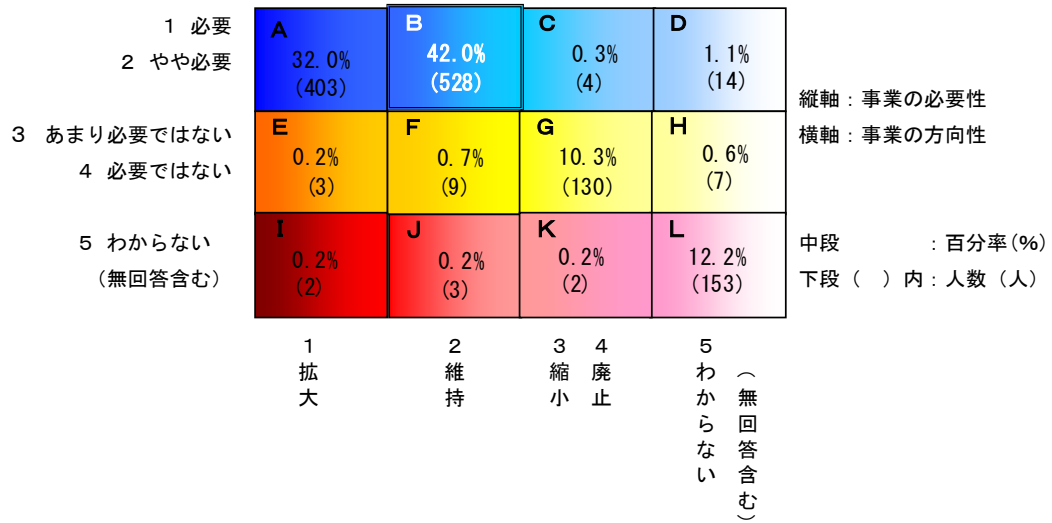
1 必要	A 4ポイント a人	B 5ポイント b人	C 3ポイント c人	D 3ポイント d人	
2 やや必要					
3 あまり必要ではない	E 0ポイント e人	F 1ポイント f人	G 0ポイント g人	H 0ポイント h人	
4 必要ではない					
5 わからない (無回答含む)	I 0ポイント i人	J 1ポイント j人	K 0ポイント k人	L 0ポイント l人	
	1 拡 大	2 維 持	3 縮 小	4 廃 止	5 わ か ら な い (無 回 答 含 む)

A欄にa人、B欄にb人、…L欄にl人集計された場合の満足度は次の式で算出されます。

$$\frac{4 \times a + 5 \times b + 3 \times c + 3 \times d + 1 \times f + 1 \times j}{a + b + c + d + e + f + g + h + i + j + k + l}$$

回答者が全員事業に不満足の場合は0ポイント、全員満足している場合は5ポイント（満点）となります。

(例) 1 学校給食地産地消促進事業



・満足度の分析

事業の満足度(加重平均) 3.43 ポイント

・事業の必要性の認識の分析

- 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合(A+B+C+D) . . . 75.4%
- 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合(E+F+G+H) . . . 11.8%
- 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む) (I+J+K+L) . . . 12.8%

・事業の方向性の認識の分析

- 「拡大」と回答した市民の割合(A+E+I) . . . 32.4%
- 「維持」と回答した市民の割合(B+F+J) . . . 42.9%
- 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合(C+G+K) . . . 10.8%
- 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(D+H+L) . . . 13.9%

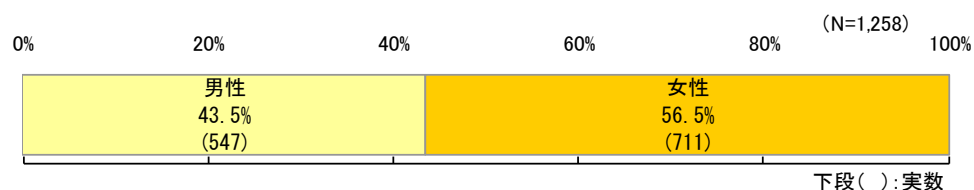
また、性別、年代別、校区別による調査結果の違いの有無を把握するため、100%積上グラフを作成し、分析しました。

調査結果

I. 回答者の属性

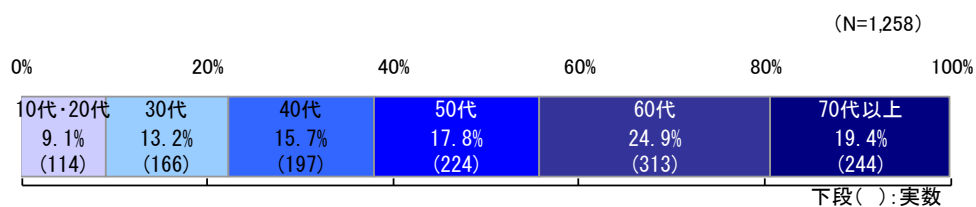
(1) 性別

性別は、男性43.5%、女性56.5%で女性の割合が高くなっています。



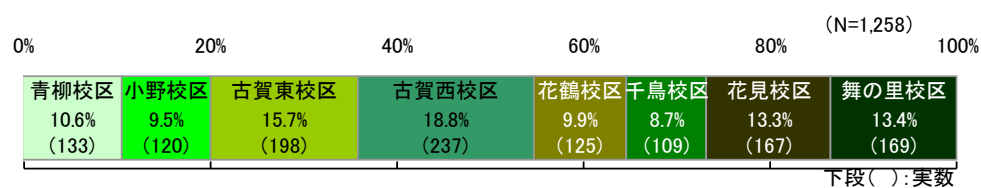
(2) 年代別

年代別では、「60代」(24.9%)の割合が最も高く、次いで「70代」(19.4%)、「50代」(17.8%)の順になっています。



(3) 校区別

校区別では、「古賀西校区」(18.8%)の割合が最も高く、次いで「古賀東校区」(15.7%)、「舞の里校区」(13.4%)の順になっています。



上段：百分率(%) 下段()内：人数

1 学校給食地産地消促進事業				
●事業目的 地元農産物の消費拡大のため、学校給食用の農作物を作付する農家への補助を継続します。	この事業の必要性は？		人数	百分率
	1 必要		697	55.4
	2 やや必要		252	20.0
	3 あまり必要ではない		74	5.9
	4 必要ではない		75	6.0
●事業内容 学校給食に使用する農作物の作付けを行っている農家に対し、作付面積に応じて財政的補助を支援することにより地産地消を推進しています。	5 わからない(無回答含む)		160	12.7
	(計)		1,258	100
	この事業の方向性は？		人数	百分率
	1 拡大		408	32.4
	2 維持		540	42.9
●事業に使ったお金 総事業費 70万円 (事業費 15万円、人件費 55万円) 市民一人あたりの負担額 12円	3 縮小		55	4.4
	4 廃止		81	6.4
	5 わからない(無回答含む)		174	13.8
	(計)		1,258	100

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、3.43ポイントでした。
 事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く75.4%でした。
 事業の方向性では、「拡大」と回答した市民は多く32.4%でした。

満足度分布

(1) 分布図

1 必要 2 やや必要	A	B	C	D
	32.0% (403)	42.0% (528)	0.3% (4)	1.1% (14)
3 あまり必要ではない 4 必要ではない	E	F	G	H
	0.2% (3)	0.7% (9)	10.3% (130)	0.6% (7)
5 わからない (無回答含む)	I	J	K	L
	0.2% (2)	0.2% (3)	0.2% (2)	12.2% (153)
	1	2	3 4	5
	拡大	維持	縮小 廃止	わ か ら な い (無 回 答 含 む)

※ 便宜上、表中のエリアにA～Lの記号を付すこととします。

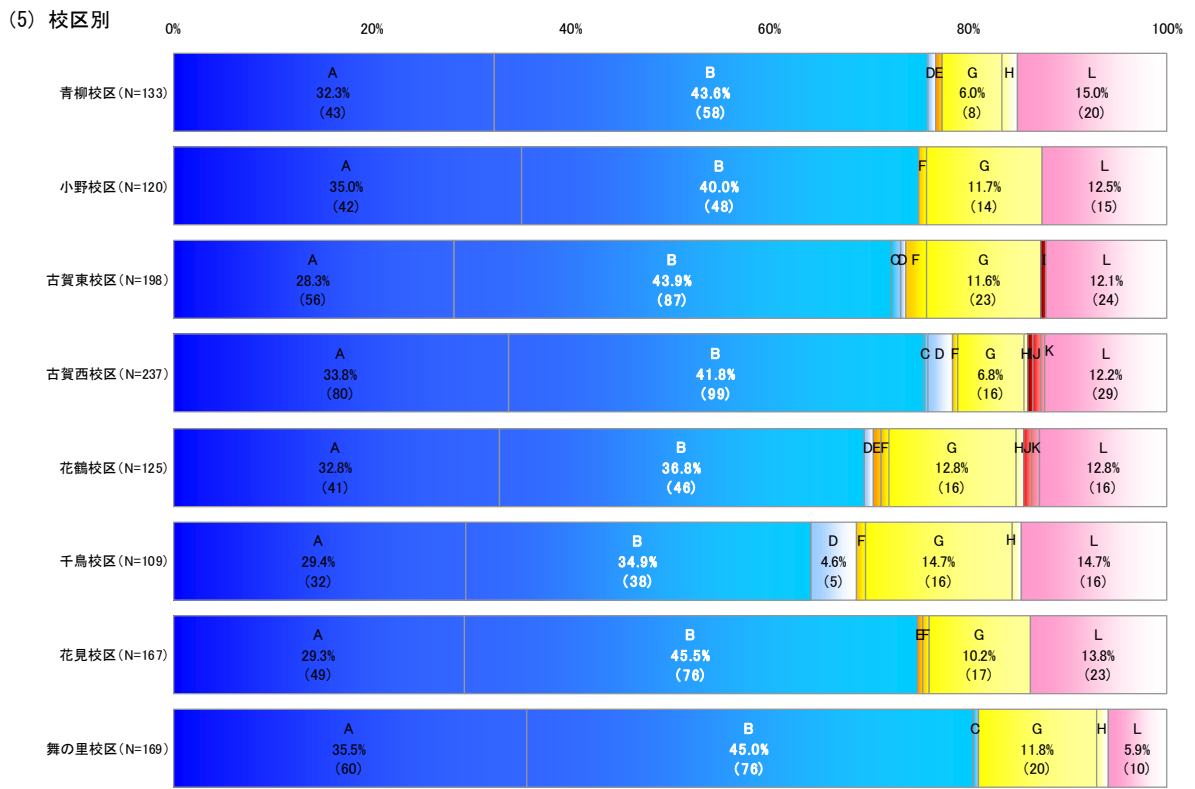
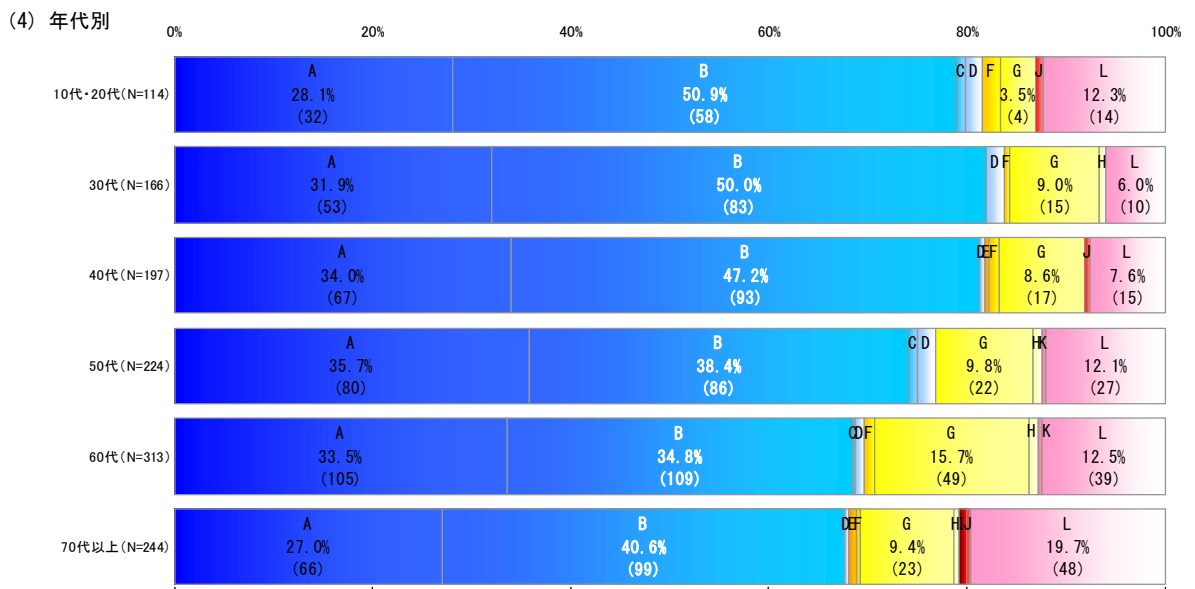
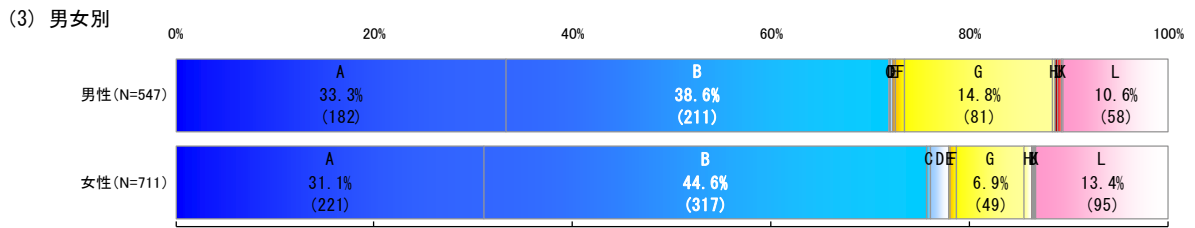
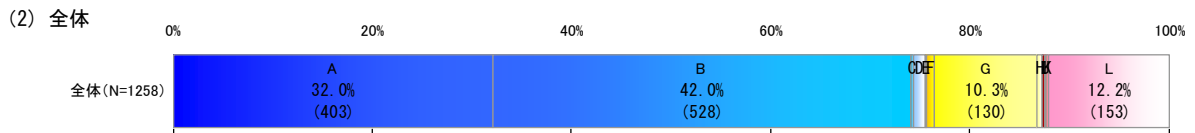
※ 中段 : 百分率(%)
下段()内: 人数(人)

事業の満足度について
満足度（加重平均） 3.43 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 75.4%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 11.8%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 12.8%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 32.4%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 42.9%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 10.8%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 13.9%

男女別、年代別、校区別にA～Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

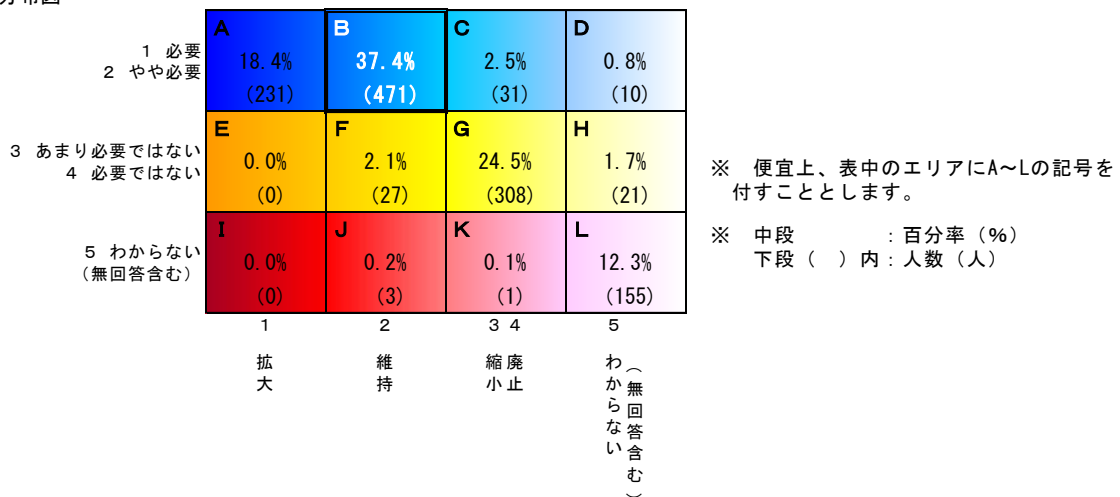
2 K-1 (古賀の一品) グランプリ事業					
●事業目的 消費者のニーズに沿った、高付加価値農産物の研究や環境に配慮した安全・安心な農産物の生産を拡大するため、「地産地消」による地元農産物の消費拡大をめざします。	この事業の必要性は？		人数	百分率	
	1	必要	372	29.6	
	2	やや必要	371	29.5	
	3	あまり必要ではない	253	20.1	
	4	必要ではない	103	8.2	
	5	わからない(無回答含む)	159	12.6	
			(計)	1,258	100
	この事業の方向性は？		人数	百分率	
	1	拡大	231	18.4	
	2	維持	501	39.8	
3	縮小	230	18.3		
4	廃止	110	8.7		
5	わからない(無回答含む)	186	14.8		
		(計)	1,258	100	
●事業内容 市内で生産された農産物を原料とし、市内の事業者および農業者自ら商工業者と連携して生産・加工・販売までを一体的に行い、新たな特産品づくりに取り組んでいます。さらに、出場者に対し、開発に伴う経費の財政的支援や販路開拓の支援も行っています。また、開発された特産品を広く周知するため「まつり古賀」会場内において特設会場を設置し、来場者の投票によって入賞作品を決定する「K-1 (古賀の一品) グランプリ」を開催しています。					
●事業に使ったお金 総事業費 681万円 (事業費 472万円、人件費 209万円)					
市民一人あたりの負担額 116円					

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度はやや高く、5ポイント(満点)中、2.73ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は59.1%と半数を超えています。

満足度分布

(1) 分布図



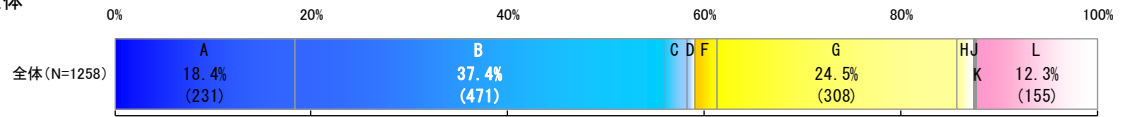
事業の満足度について
満足度(加重平均) 2.73 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合 (A+B+C+D) 59.1%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合 (E+F+G+H) 28.3%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む) (I+J+K+L) 12.6%

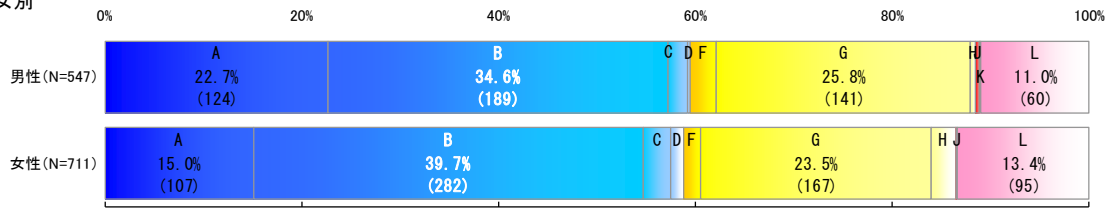
事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合 (A+E+I) 18.4%
 「維持」と回答した市民の割合 (B+F+J) 39.7%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合 (C+G+K) 27.1%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む) (D+H+L) 14.8%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。

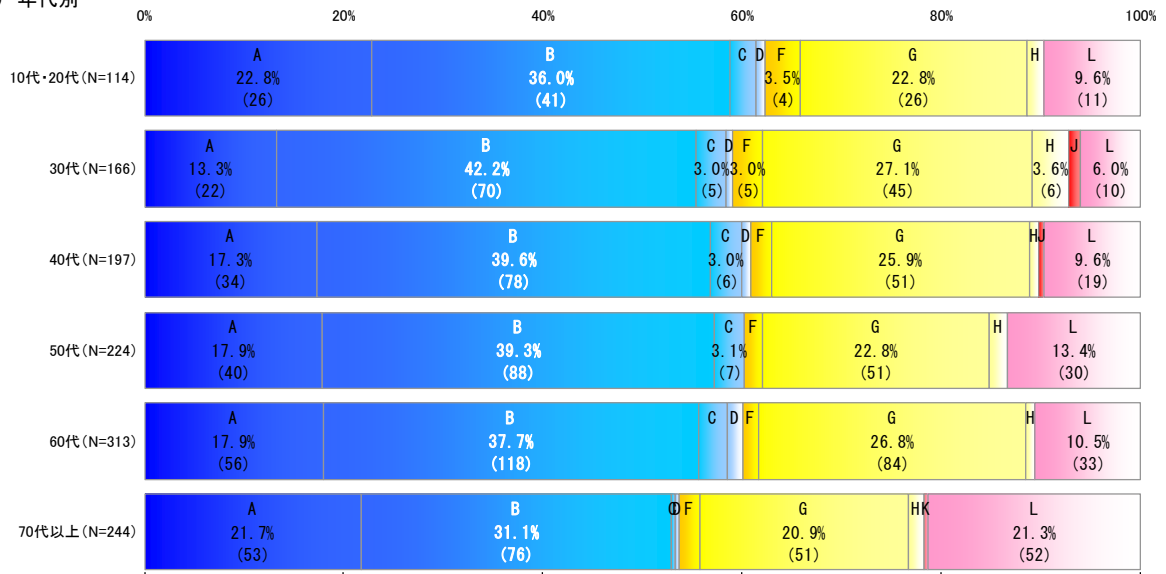
(2) 全体



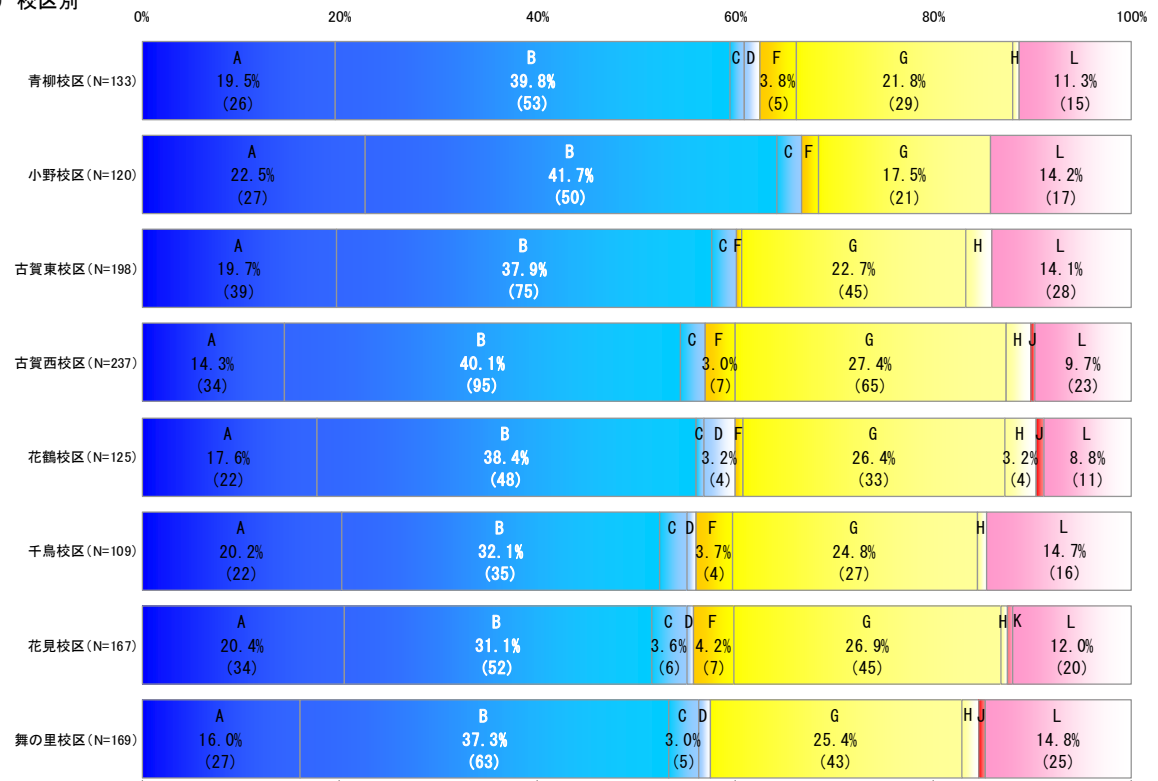
(3) 男女別



(4) 年代別



(5) 校区別



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

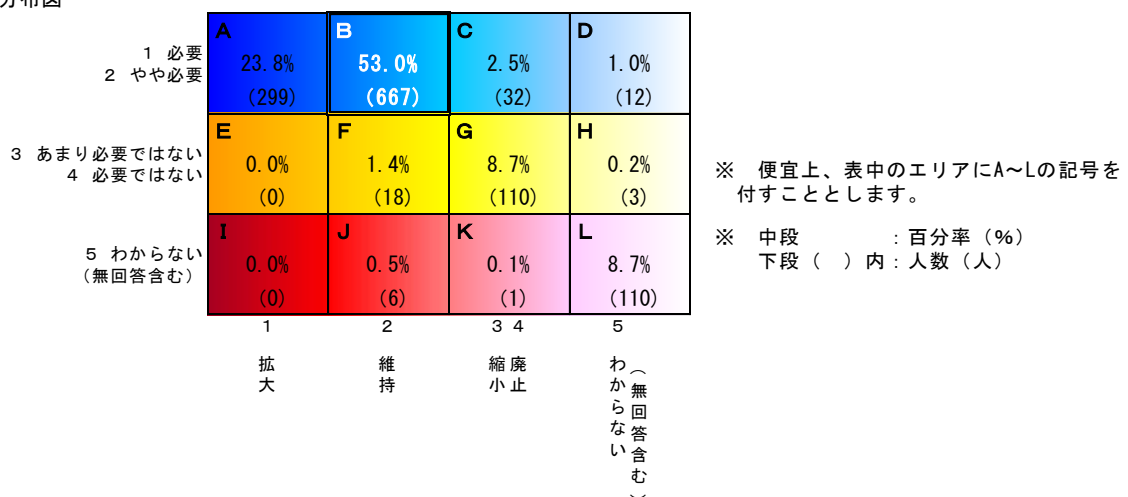
3 特産品PR活動支援事業					
<p>●事業目的 市の農産品や特産品の紹介や販売促進を行うため、市の特色である「モノづくり力」を活かしながら、市をPRするような取り組みの推進につとめます。</p> <p>●事業内容 市の特産品を広く紹介するために、「食の祭典」や工業団地などでの直売イベントの企画や古賀サービスエリア・観光案内所での販売促進支援に取り組みました。「食の祭典」や工業団地での直売イベントをはじめ、市外へのPR活動を行うことができるようなイベント開催の支援を行いました。</p> <p>●事業に使ったお金 総事業費 992万円 (事業費 557万円、人件費 435万円) 市民一人あたりの負担額 168円</p>	この事業の必要性は？		人数	百分率	
	1 必要		558	44.4	
	2 やや必要		452	35.9	
	3 あまり必要ではない		96	7.6	
	4 必要ではない		35	2.8	
	5 わからない(無回答含む)		117	9.3	
			(計)	1,258	100
	この事業の方向性は？		人数	百分率	
	1 拡大		299	23.8	
	2 維持		691	54.9	
3 縮小		104	8.3		
4 廃止		39	3.1		
5 わからない(無回答含む)		125	9.9		
		(計)	1,258	100	

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、3.73ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く80.3%でした。事業の方向性では、「維持」と回答した市民は多く54.9%でした。

満足度分布

(1) 分布図

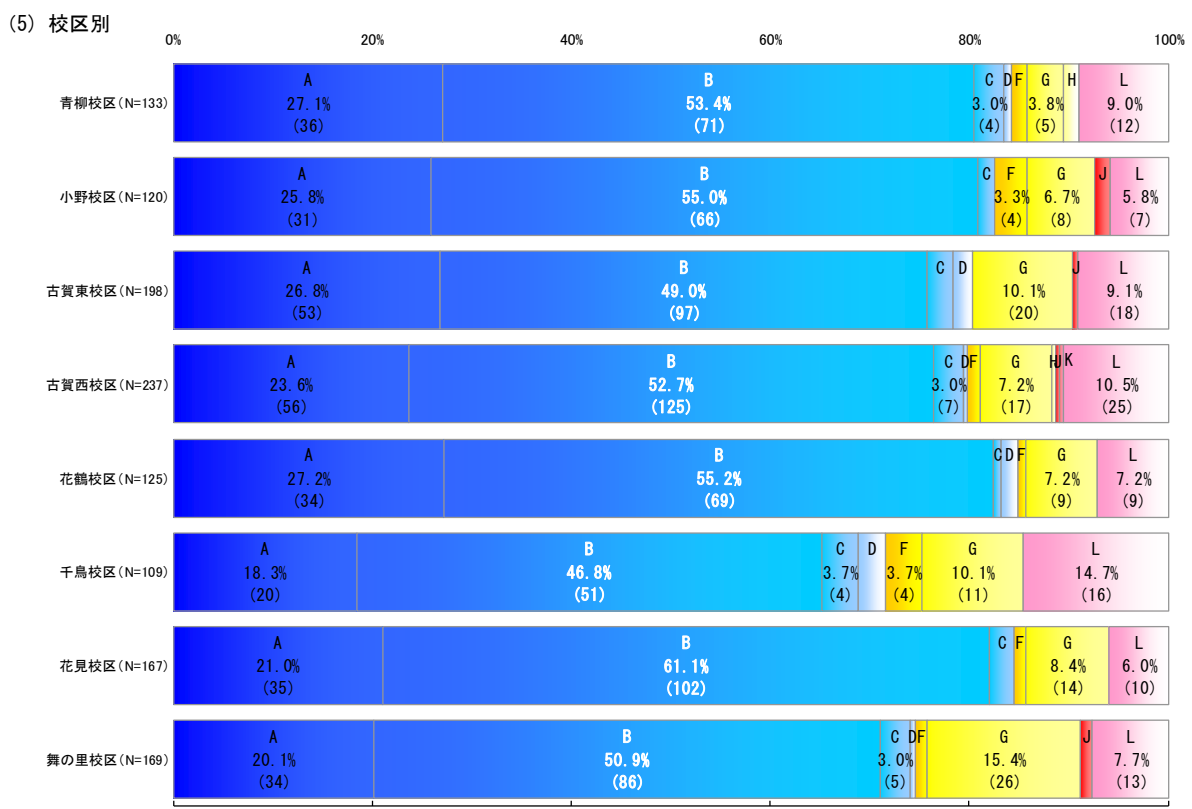
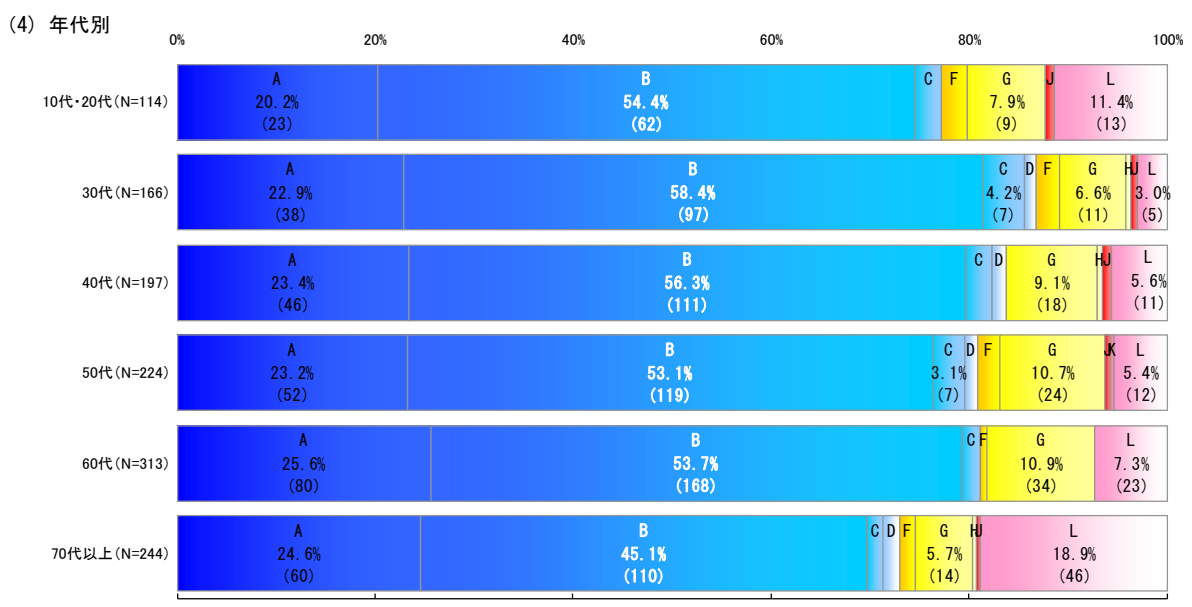
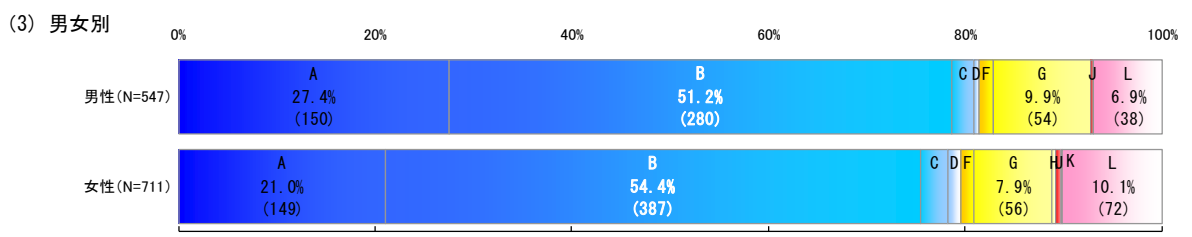
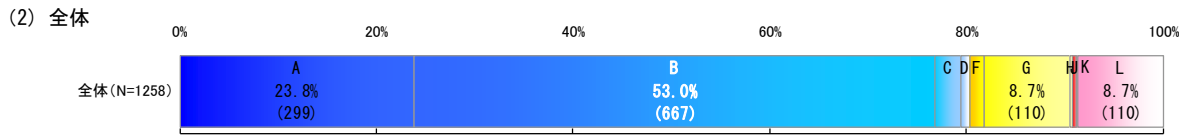


事業の満足度について
満足度（加重平均） 3.73 ポイント

事業の必要性について
「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 80.3%
「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 10.3%
「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 9.3%

事業の方向性について
「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 23.8%
「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 54.9%
「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 11.3%
「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 9.9%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

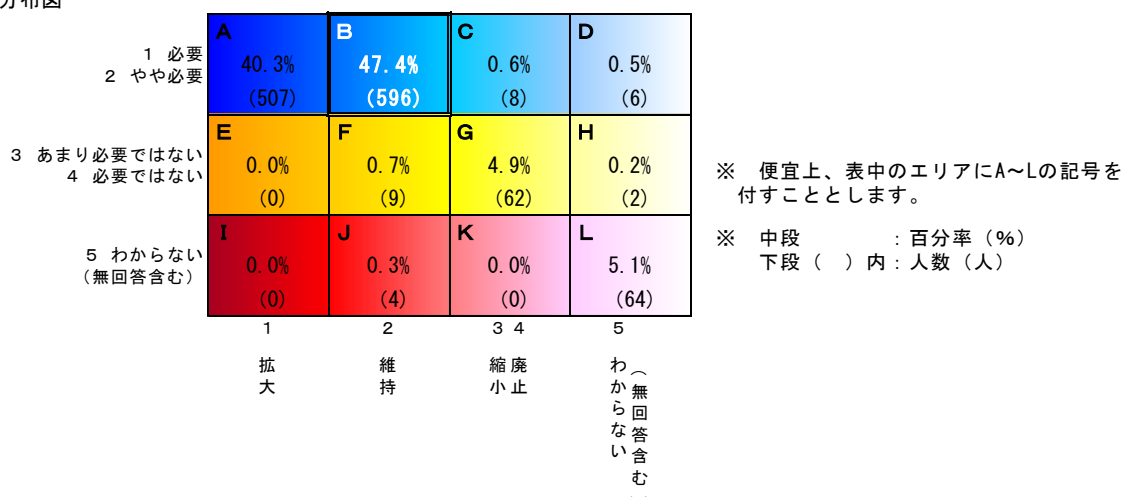
4 小中学生の体験学習事業							
●事業目的 学校教育の充実を図るため、地域や企業などの協力を得て、児童生徒の社会性や職業観などを育むキャリア教育の推進につとめます。	●事業内容 小学校5年生では「接遇マナー研修」を、中学校2年生では、市内の事業所で5日間の「職業体験学習」を実施しています。児童・生徒が自己の理解を深め、社会的なルールやマナーを身につけることができるようにするとともに、将来の自分の姿や生き方について考える機会を与えるための取り組みを行っています。		この事業の必要性は？		人数	百分率	
			1 必要	890	70.7		
			2 やや必要	227	18.0		
			3 あまり必要ではない	51	4.1		
			4 必要ではない	22	1.7		
			5 わからない(無回答含む)	68	5.4		
			(計)		1,258	100	
			この事業の方向性は？		回答者	百分率	
			1 拡大	507	40.3		
			2 維持	609	48.4		
3 縮小	42	3.3					
4 廃止	28	2.2					
5 わからない(無回答含む)	72	5.7					
(計)		1,258	100				
●事業に使ったお金 <接遇マナー研修>		<職業体験学習>					
総事業費		26万円	総事業費		70万円		
(事業費 17万円、人件費 9万円)			(事業費 50万円、人件費 20万円)				
市民一人あたりの負担額		4円	市民一人あたりの負担額		12円		

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、4.02ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く88.8%でした。事業の方向性では、「拡大」と回答した市民は多く40.3%でした。

満足度分布

(1) 分布図

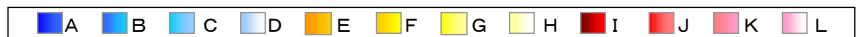
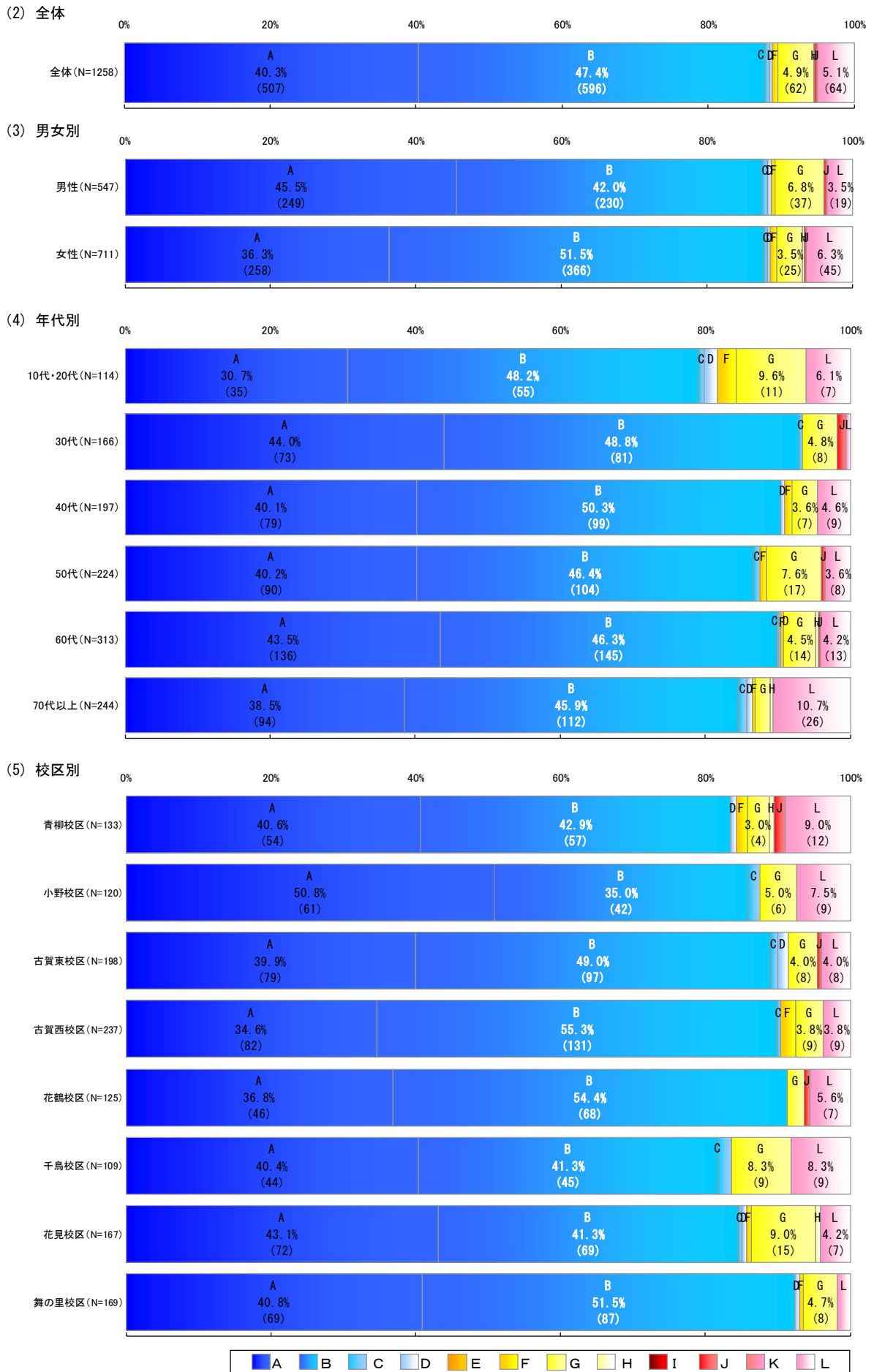


事業の満足度について
満足度（加重平均） 4.02 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 88.8%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 5.8%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 5.4%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 40.3%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 48.4%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 5.5%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 5.8%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりで。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

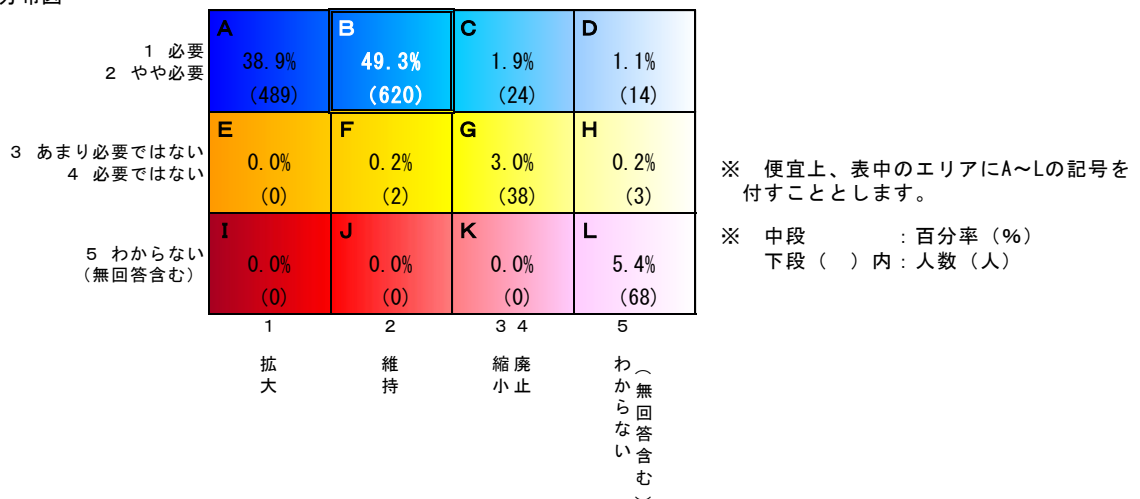
5 乳幼児・子ども医療事業				
●事業目的 子育て環境の充実を図るため、医療費の経済的負担を軽減する取り組みを推進しています。	この事業の必要性は？		人数	百分率
	1 必要		911	72.4
	2 やや必要		236	18.8
	3 あまり必要ではない		28	2.2
	4 必要ではない		15	1.2
	5 わからない(無回答含む)		68	5.4
		(計)	1,258	100
	この事業の方向性は？		人数	百分率
	1 拡大		489	38.9
	2 維持		622	49.4
3 縮小		46	3.7	
4 廃止		16	1.3	
5 わからない(無回答含む)		85	6.8	
	(計)	1,258	100	
●事業に使ったお金 総事業費 7,828万円 (事業費 6,977万円、人件費 851万円) (国・県の補助金等を含めると 1億5,587万円) 市民一人あたりの負担額 1,328円				

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント(満点)中、4.11ポイントでした。
 事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く91.2%でした。
 事業の方向性では、「拡大」と回答した市民は多く38.9%でした。

満足度分布

(1) 分布図

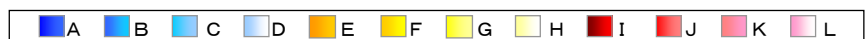
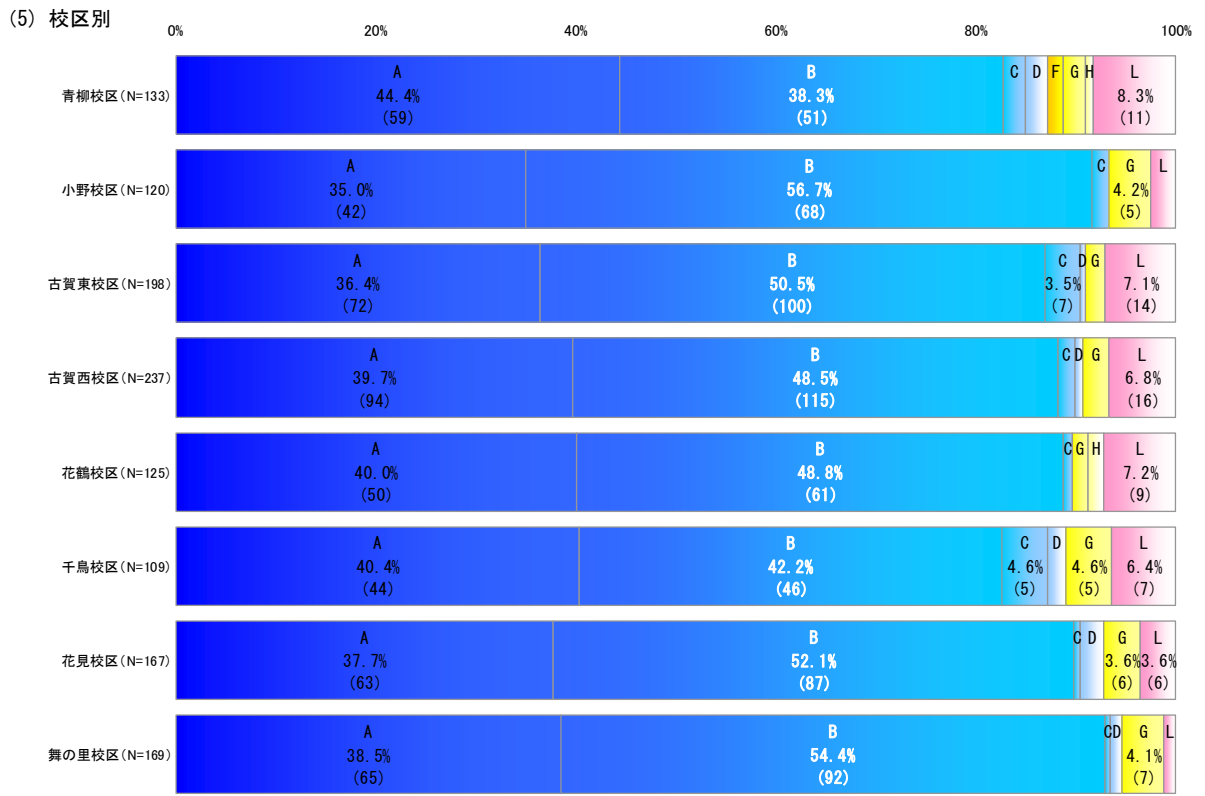
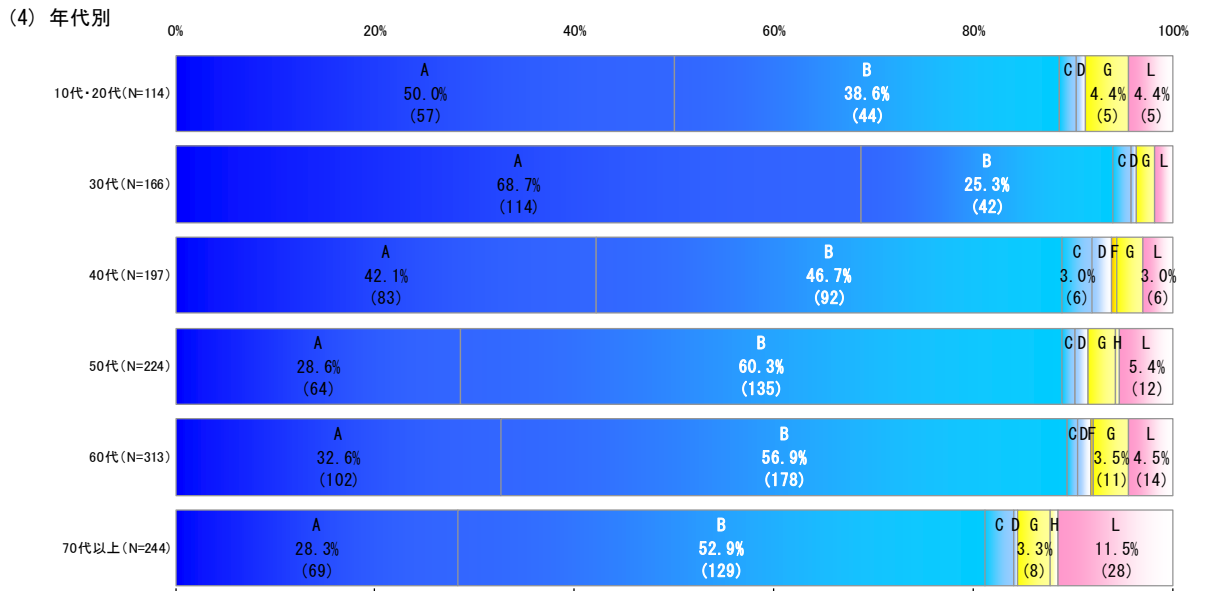
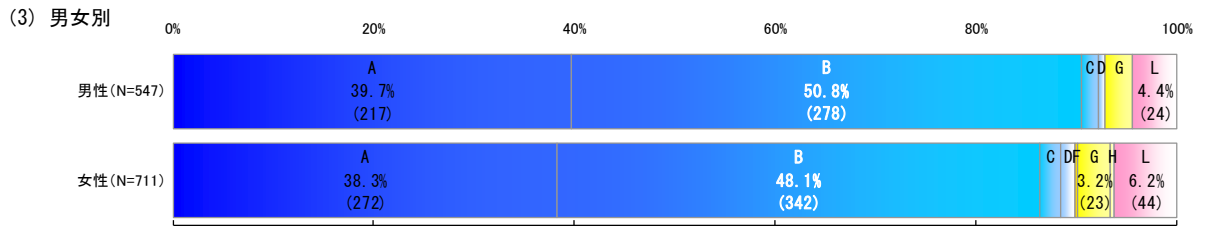
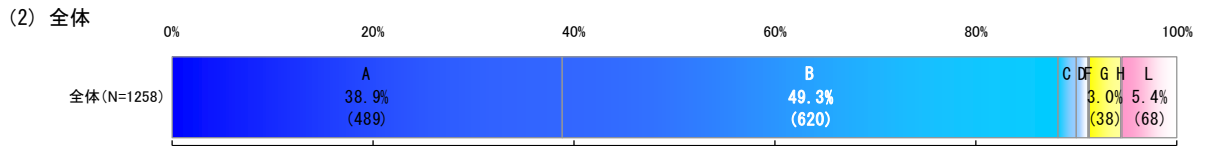


事業の満足度について
 満足度(加重平均) 4.11 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合(A+B+C+D) 91.2%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合(E+F+G+H) 3.4%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(I+J+K+L) 5.4%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合(A+E+I) 38.9%
 「維持」と回答した市民の割合(B+F+J) 49.5%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合(C+G+K) 4.9%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(D+H+L) 6.7%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

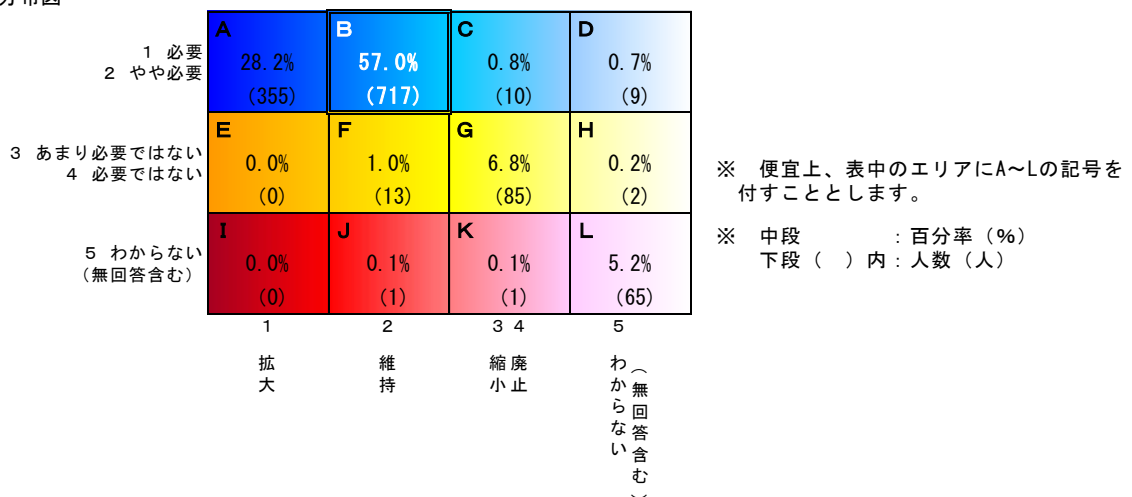
6 古賀市元気な子どもづくり事業					
●事業目的 児童の健全育成を図るため、保育環境を整備し、体力や運動能力の向上に取り組みます。	●事業内容 市内の私立保育園や私立幼稚園及び届出保育所に対し、遊具の設置費用や遊具の購入費用の財政的支援を行いました。	●事業に使ったお金 市が使ったお金 423万円 (事業費 359万円、人件費 64万円) 市民一人あたりの負担額 72円	この事業の必要性は？	人数	百分率
			1 必要	740	58.8
			2 やや必要	351	27.9
			3 あまり必要ではない	69	5.5
			4 必要ではない	31	2.5
			5 わからない(無回答含む)	67	5.3
			(計)	1,258	100
			この事業の方向性は？	人数	百分率
			1 拡大	355	28.2
			2 維持	731	58.1
		3 縮小	67	5.3	
		4 廃止	29	2.3	
		5 わからない(無回答含む)	76	6.0	
		(計)	1,258	100	

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、4.03ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く86.7%でした。

満足度分布

(1) 分布図

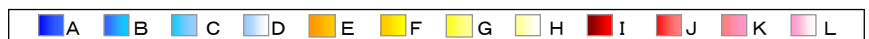
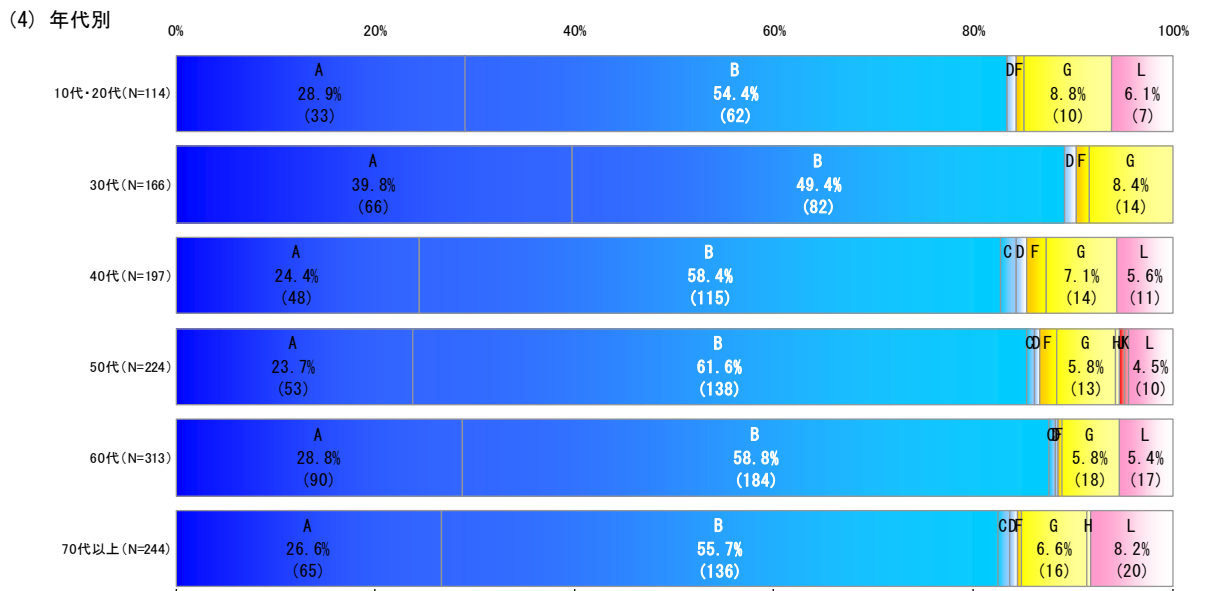
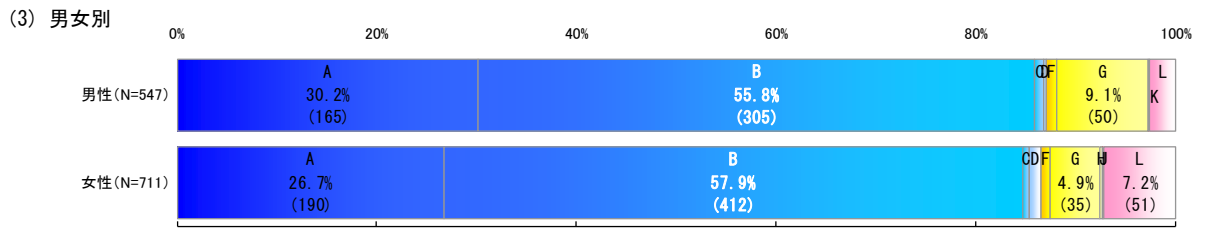
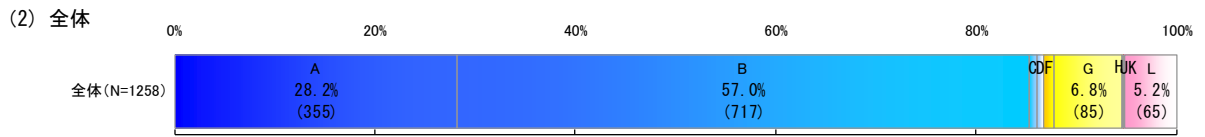


事業の満足度について
満足度（加重平均） 4.03 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 86.7%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 8.0%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 5.4%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 28.2%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 58.1%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 7.7%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 6.1%

男女別、年代別、校区別にA～Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

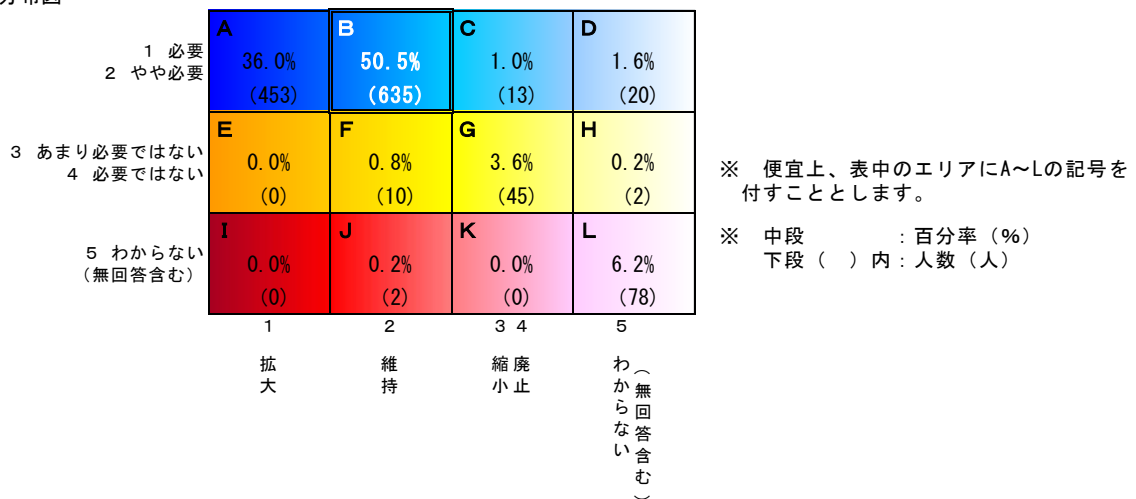
7 学童保育所整備事業				
●事業目的 放課後の児童の安全確保や健全育成を図るため、学童保育所の整備に取り組みます。	この事業の必要性は？		人数	百分率
	1 必要	811	64.5	
	2 やや必要	310	24.6	
	3 あまり必要ではない	43	3.4	
	4 必要ではない	14	1.1	
	5 わからない(無回答含む)	80	6.4	
	(計)	1,258	100	
	この事業の方向性は？		人数	百分率
	1 拡大	453	36.0	
	2 維持	647	51.4	
3 縮小	45	3.6		
4 廃止	13	1.0		
5 わからない(無回答含む)	100	7.9		
(計)	1,258	100		
●事業に使ったお金 総事業費 265万円 (事業費 158万円、人件費 107万円) (国・県の補助金等を含めると 582万円) 市民一人あたりの負担額 45円				

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、4.05ポイントでした。
 事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く89.1%でした。

満足度分布

(1) 分布図



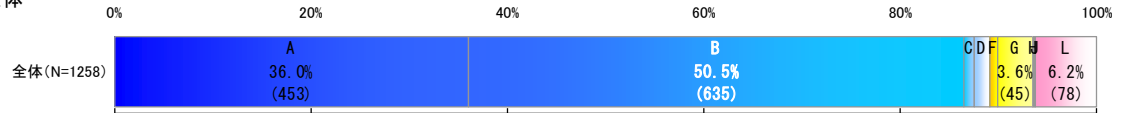
事業の満足度について
 満足度（加重平均） 4.05 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 89.1%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 4.6%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 6.4%

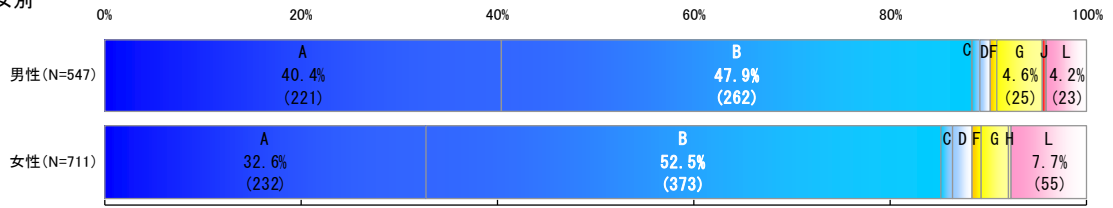
事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 36.0%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 51.5%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 4.6%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 8.0%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。

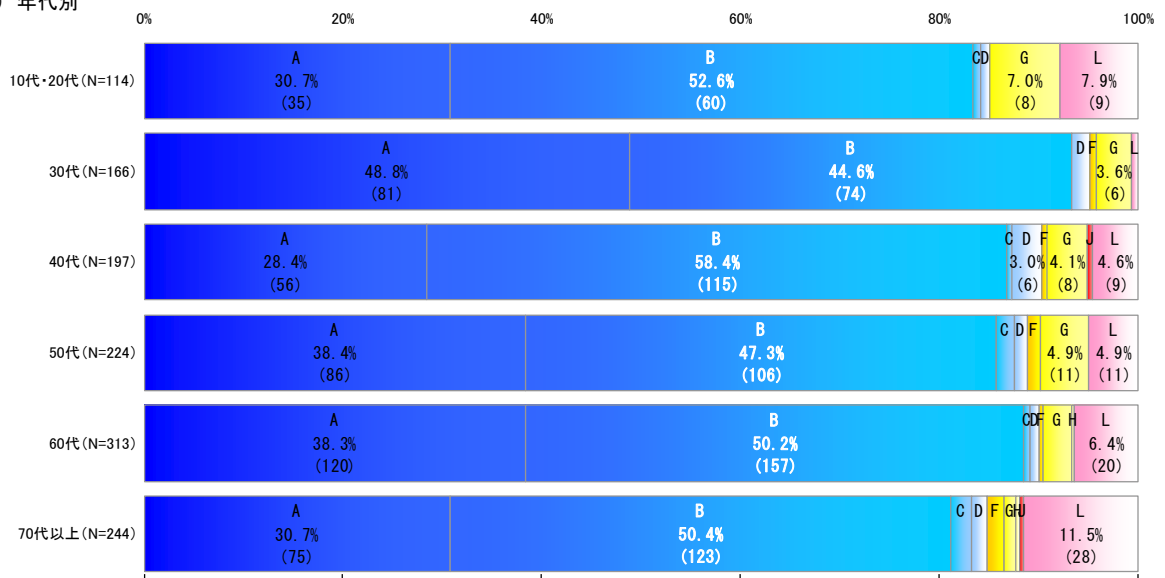
(2) 全体



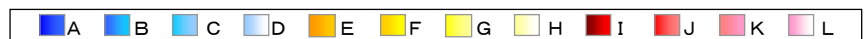
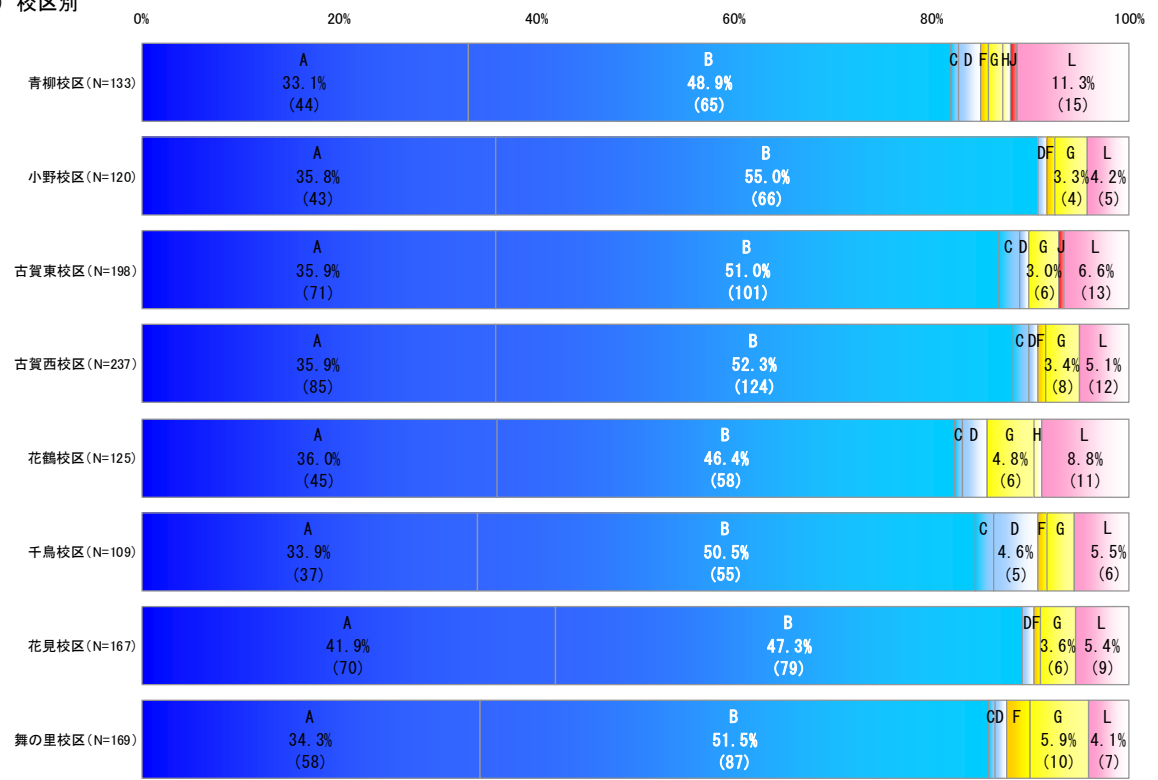
(3) 男女別



(4) 年代別



(5) 校区別



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

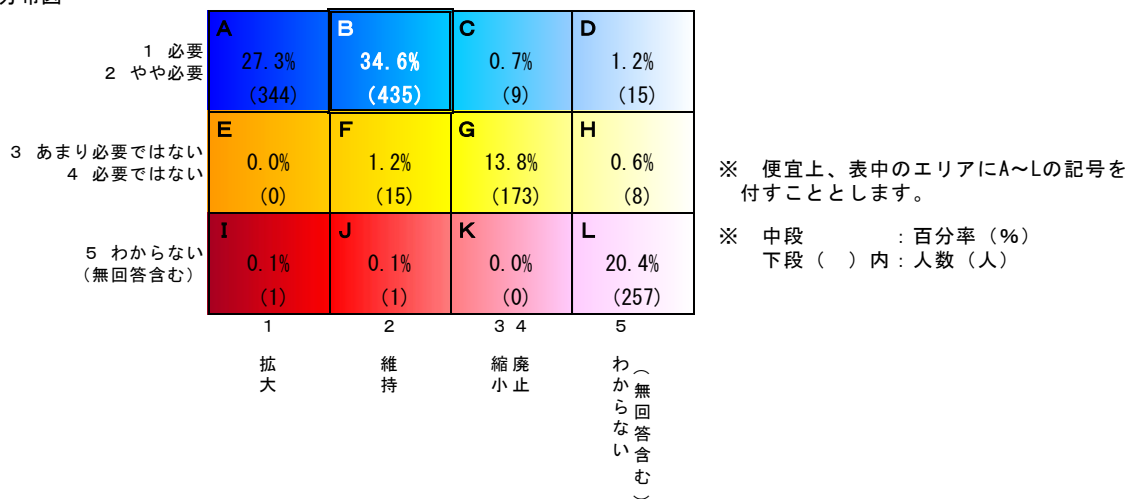
8 エネファーム普及促進事業			
●事業目的 地球温暖化などの地球環境の問題に対処するため、市民・事業者・市が協働でゴミの減量や地球温暖化防止に取り組み、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築をめざします。	この事業の必要性は？		
	1 必要	496	39.4
	2 やや必要	307	24.4
	3 あまり必要ではない	128	10.2
	4 必要ではない	68	5.4
	5 わからない(無回答含む)	259	20.6
	(計)	1,258	100
	この事業の方向性は？		
	1 拡大	345	27.4
	2 維持	451	35.9
3 縮小	101	8.0	
4 廃止	81	6.4	
5 わからない(無回答含む)	280	22.3	
(計)	1,258	100	
●事業に使うお金 総事業費 100万円 (事業費 50万円、人件費 50万円) 市民一人あたりの負担額 17円			

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度はやや高く、5ポイント(満点)中、2.89ポイントでした。
 事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は多く63.8%でした。また、「わからない」と回答した市民も20.6%と多い状況でした。

満足度分布

(1) 分布図

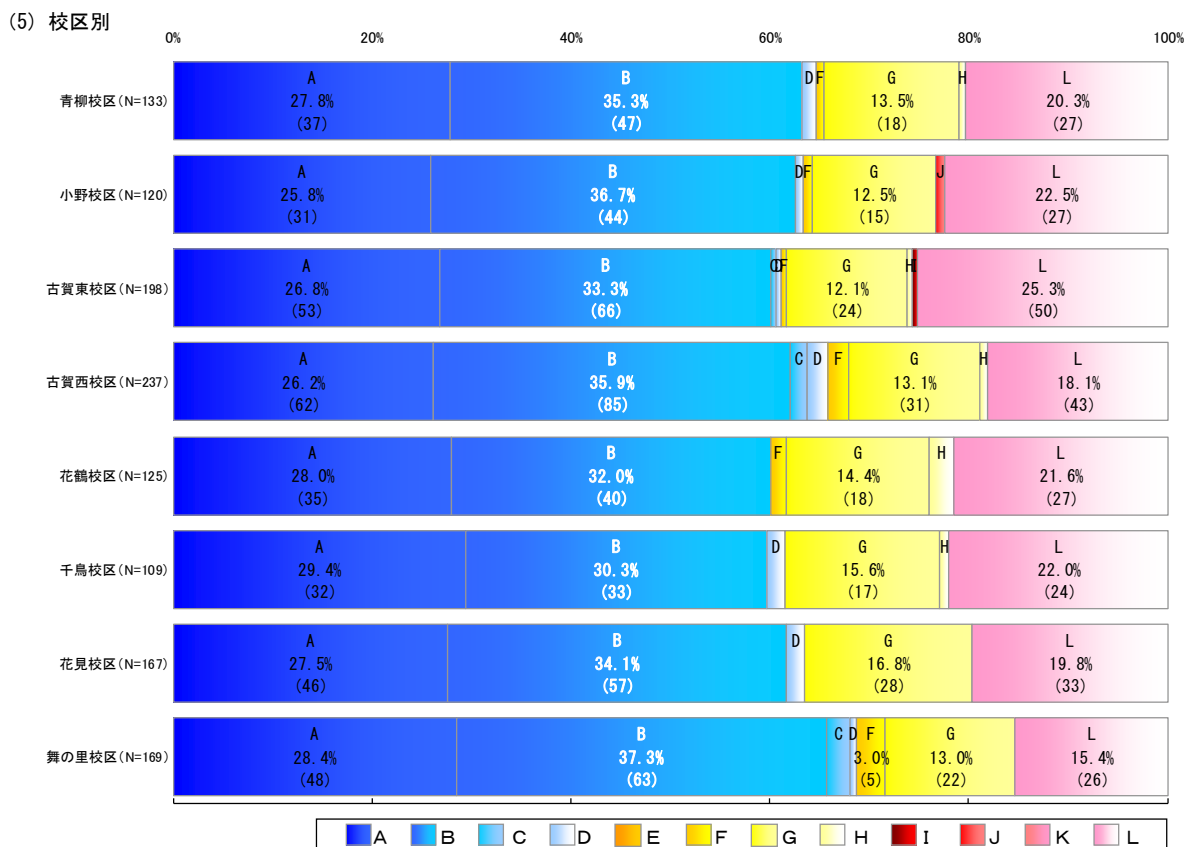
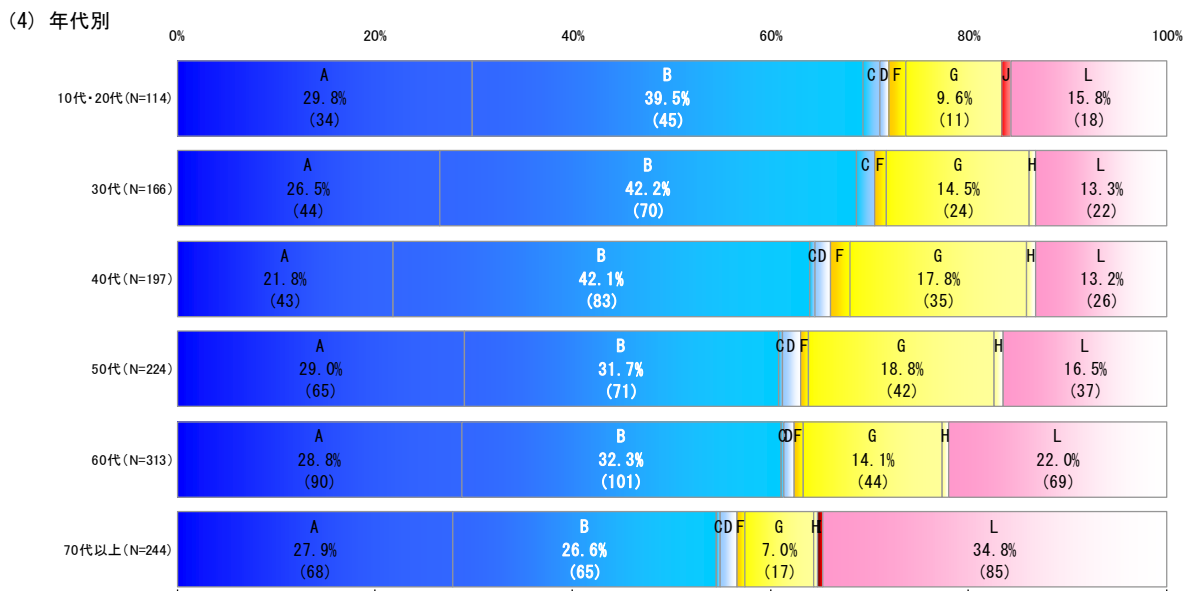
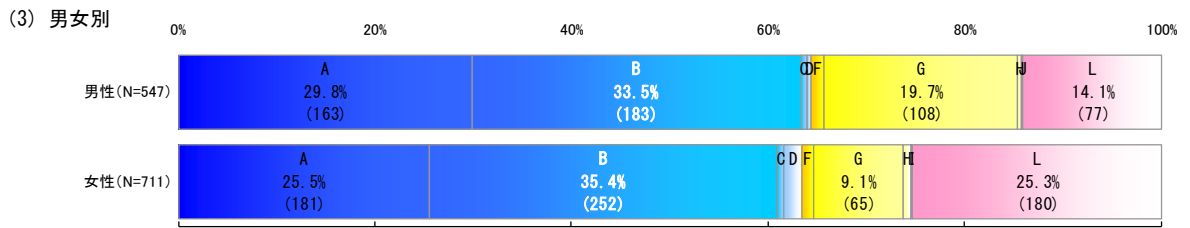
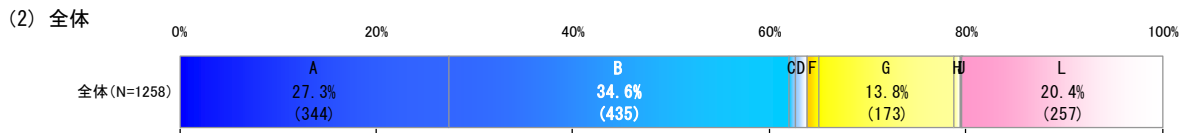


事業の満足度について
 満足度(加重平均) 2.89 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合(A+B+C+D) 63.8%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合(E+F+G+H) 15.6%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(I+J+K+L) 20.6%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合(A+E+I) 27.4%
 「維持」と回答した市民の割合(B+F+J) 35.9%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合(C+G+K) 14.5%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(D+H+L) 22.2%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

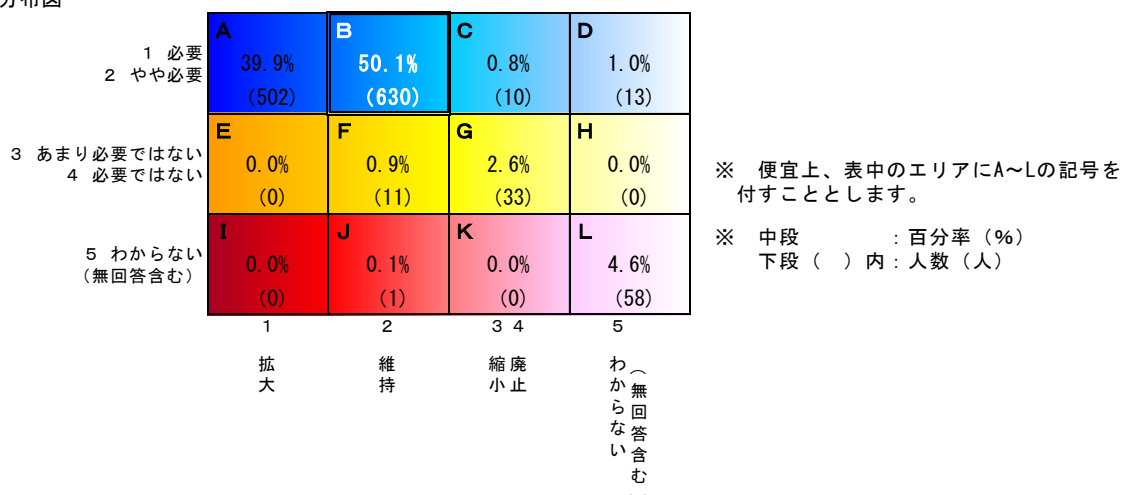
9 災害対策用品管理事業		この事業の必要性は？		人数	百分率
●事業目的 緊急時に備えるため、アレルギー対応食を含む非常食や避難資機材などの災害対策用品の充実を図ります。	1 必要	896	71.2		
	2 やや必要	259	20.6		
	3 あまり必要ではない	28	2.2		
	4 必要ではない	16	1.3		
	5 わからない(無回答含む)	59	4.7		
		(計)	1,258	100	
●事業内容 福岡県「地震に関する防災アセスメント調査」によると、古賀市だけで約1,500名の避難者が出ると想定されており、市では想定避難者3日分の非常食や被災者の救助に必要な資機材を5ヵ年計画で購入し、市内8小学校の防災倉庫に分散備蓄しています。	この事業の方向性は？		回答者	百分率	
	1 拡大	502	39.9		
	2 維持	642	51.0		
	3 縮小	27	2.1		
	4 廃止	16	1.3		
		5 わからない(無回答含む)	71	5.6	
		(計)	1,258	100	
●事業に使ったお金					
総事業費 405万円					
(事業費 301万円、人件費 104万円)					
市民一人あたりの負担額 69円					

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、4.16ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く91.8%でした。

満足度分布

(1) 分布図

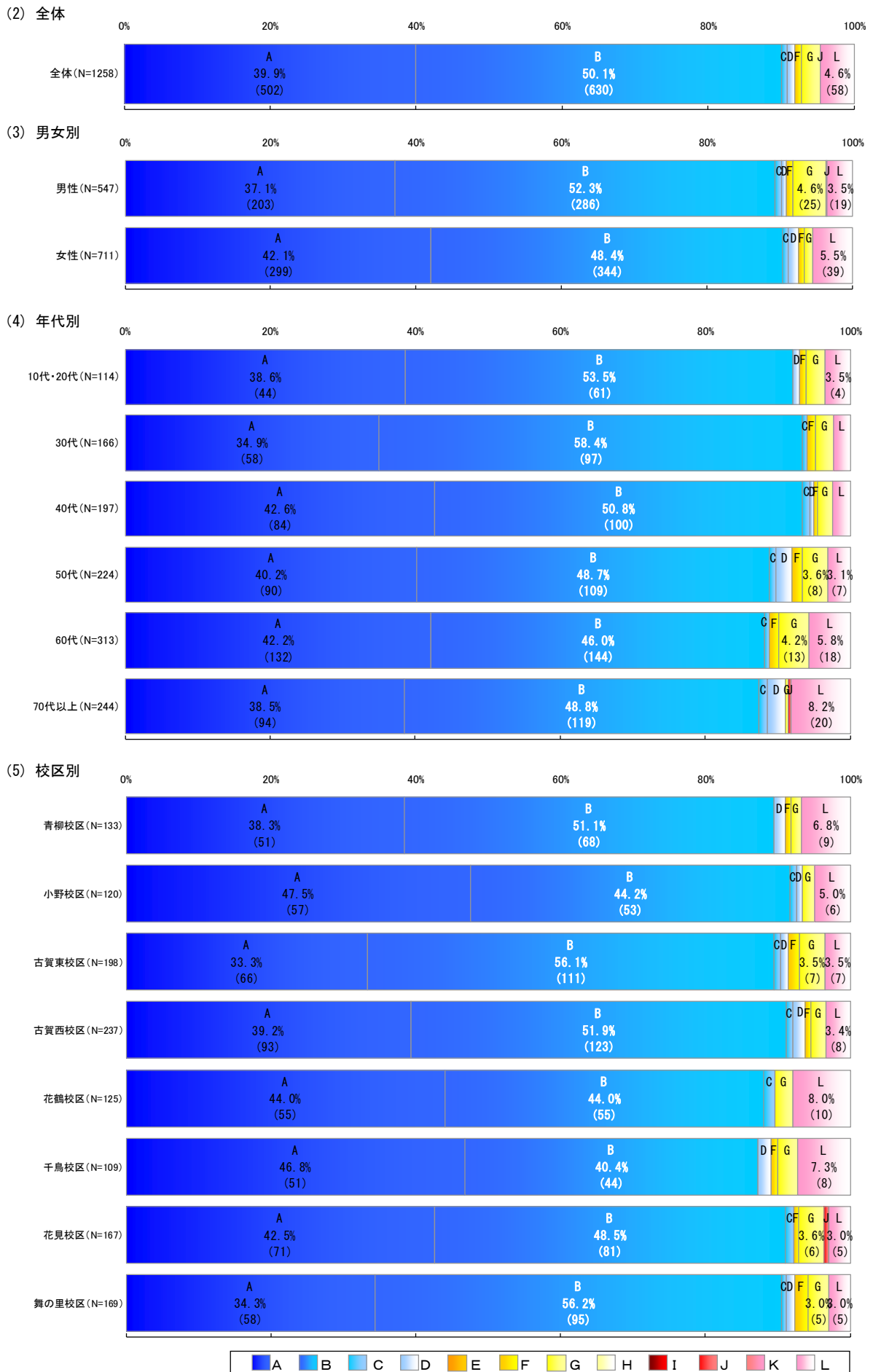


事業の満足度について
満足度（加重平均） 4.16 ポイント

事業の必要性について
「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 91.8%
「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 3.5%
「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 4.7%

事業の方向性について
「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 39.9%
「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 51.1%
「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 3.4%
「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 5.6%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

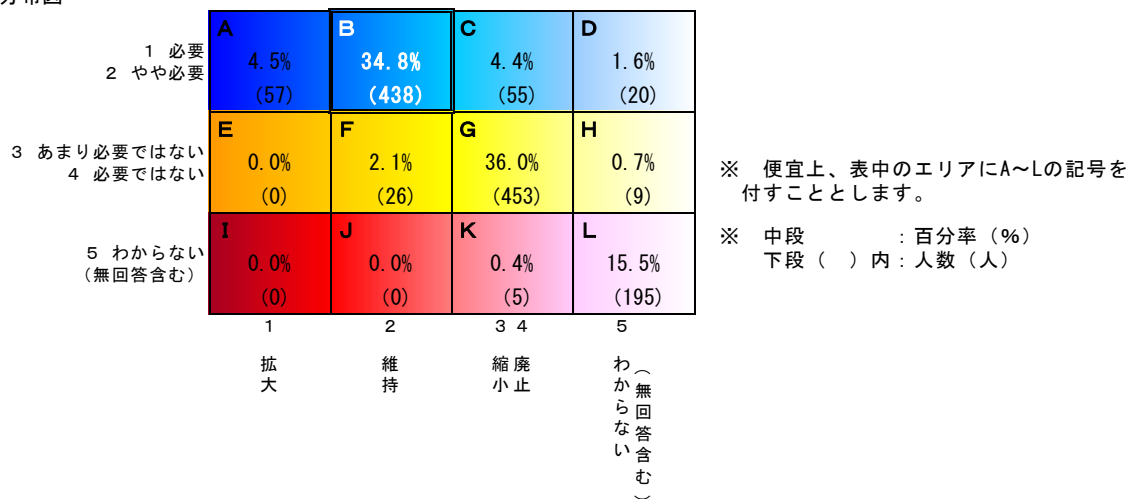
10 人権のまちづくり推進事業							
●事業目的 すべての市民の人権を尊重し、市民が共に生き、共に支え合うまちづくりをめざすため、人権教育・啓発の推進に取り組みます。	●事業内容 7月の同和問題啓発強調月間中に「同和問題を考える市民のタベ」を、12月の人権尊重週間に「いのち輝くまち☆こが2012」を開催しました。		この事業の必要性は？		人数	百分率	
			1 必要	231	18.4		
			2 やや必要	339	26.9		
			3 あまり必要ではない	298	23.7		
			4 必要ではない	190	15.1		
			5 わからない(無回答含む)	200	15.9		
			(計)		1,258	100	
			この事業の方向性は？		人数	百分率	
			1 拡大	57	4.5		
			2 維持	464	36.9		
3 縮小	323	25.7					
4 廃止	190	15.1					
5 わからない(無回答含む)	224	17.8					
(計)		1,258	100				
●事業に使ったお金							
<同和問題を考える市民のタベ>		<いのち輝くまち☆こが2012>					
総事業費 395万円		総事業費 610万円					
(事業費 73万円、人件費 322万円)		(事業費 121万円、人件費 489万円)					
市民一人あたりの負担額 67円		市民一人あたりの負担額 103円					

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度はやや低く、5ポイント（満点）中、2.12ポイントでした。
 事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は45.3%と半数に満たない状況でした。年代別にみると、30代と60代では10%以上の開きがあります。
 事業の方向性では、「縮小」「廃止」と回答した市民の割合が多く40.8%でした。

満足度分布

(1) 分布図



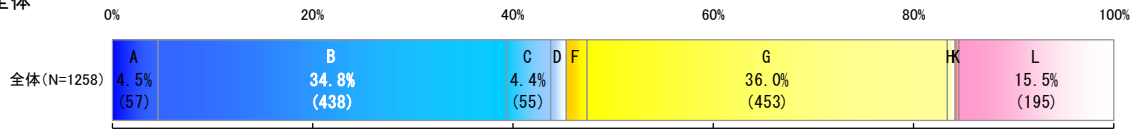
事業の満足度について
 満足度（加重平均） 2.12 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 45.3%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 38.8%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 15.9%

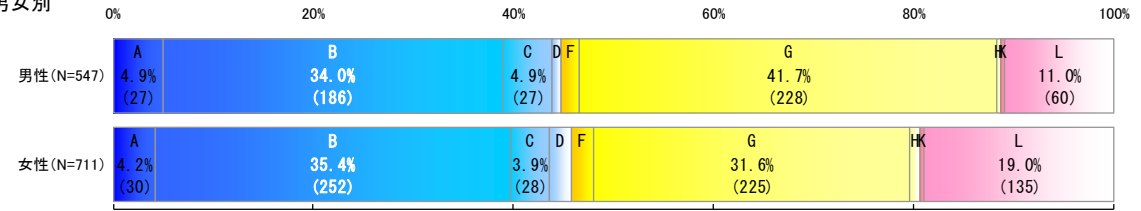
事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 4.5%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 36.9%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 40.8%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 17.8%

男女別、年代別、校区別にA～Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりで。

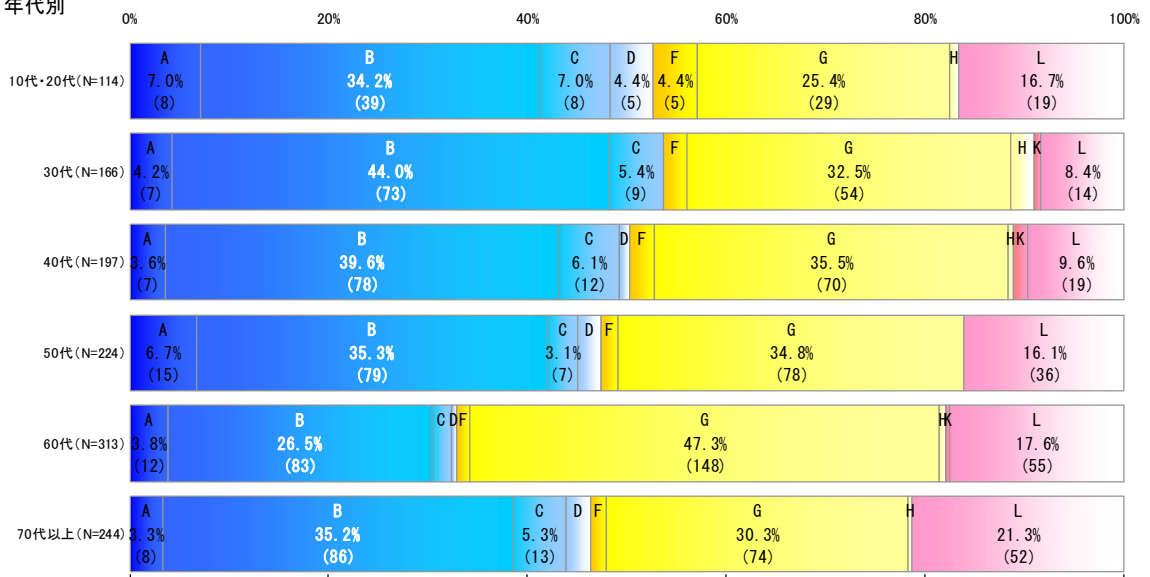
(2) 全体



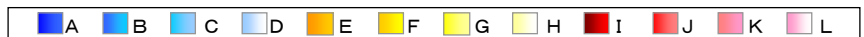
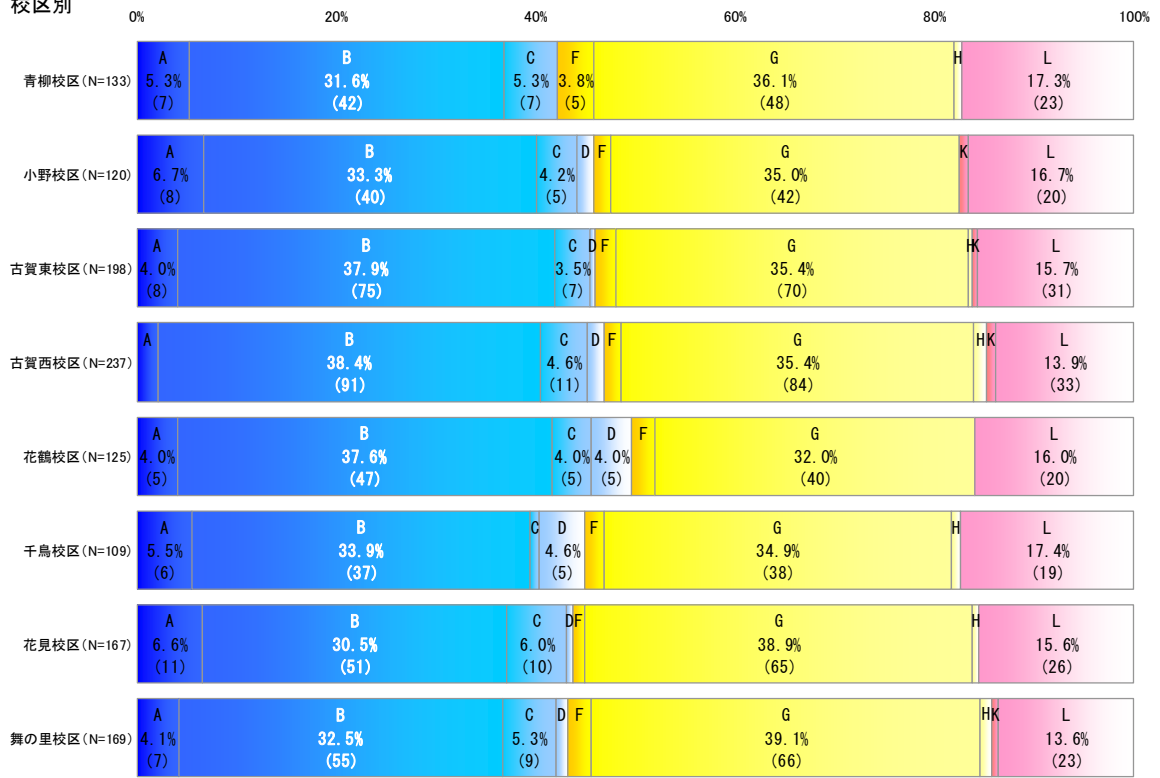
(3) 男女別



(4) 年代別



(5) 校区別



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

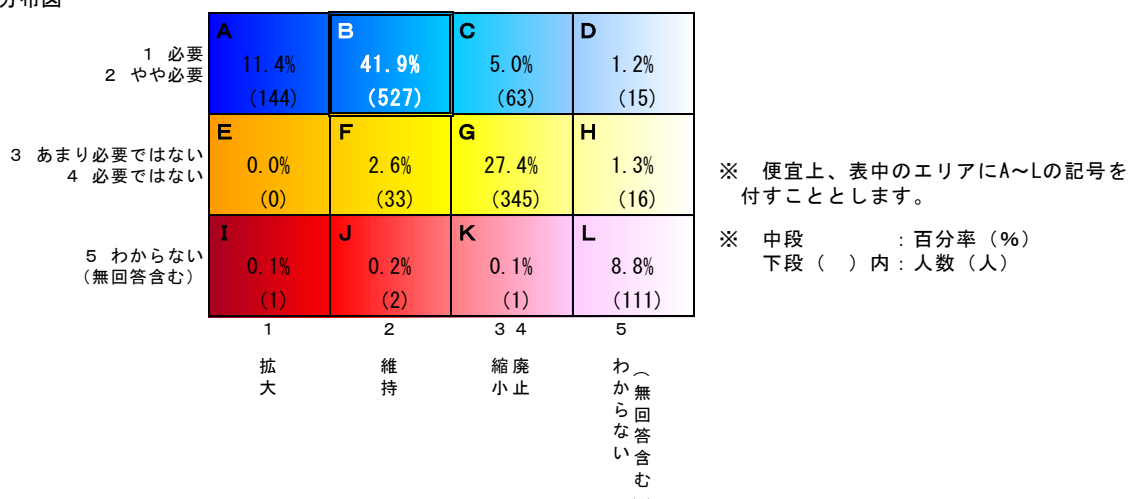
11 市民ウォーキング事業			
●事業目的 市民の健康づくりを支援するため、健康づくり活動の推進や健康意識の向上、郷土愛を育むことのできる環境の整備をめざしています。	この事業の必要性は？		
	1 必要	人数	百分率
●事業内容 市民の健康づくりや生きがいくくり、生涯スポーツ推進のため、年に2回市民ウォーキング大会を開催しています。市民ウォーキング事業の実施を行うことで、市民一人ひとりが気軽に健康づくりに取り組むことができるよう支援を行っています。	2 やや必要	436	34.7
	3 あまり必要ではない	274	21.8
●事業に使ったお金 総事業費 606万円 (事業費 371万円、人件費 235万円) 市民一人あたりの負担額 103円	4 必要ではない	120	9.5
	5 わからない(無回答含む)	115	9.1
	(計)	1,258	100
	この事業の方向性は？		
	1 拡大	人数	百分率
	2 維持	145	11.5
	3 縮小	562	44.7
	4 廃止	291	23.1
	5 わからない(無回答含む)	118	9.4
	(計)	1,258	100

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度はやや高く、5ポイント（満点）中、2.77ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は59.5%と半数を超えています。

満足度分布

(1) 分布図

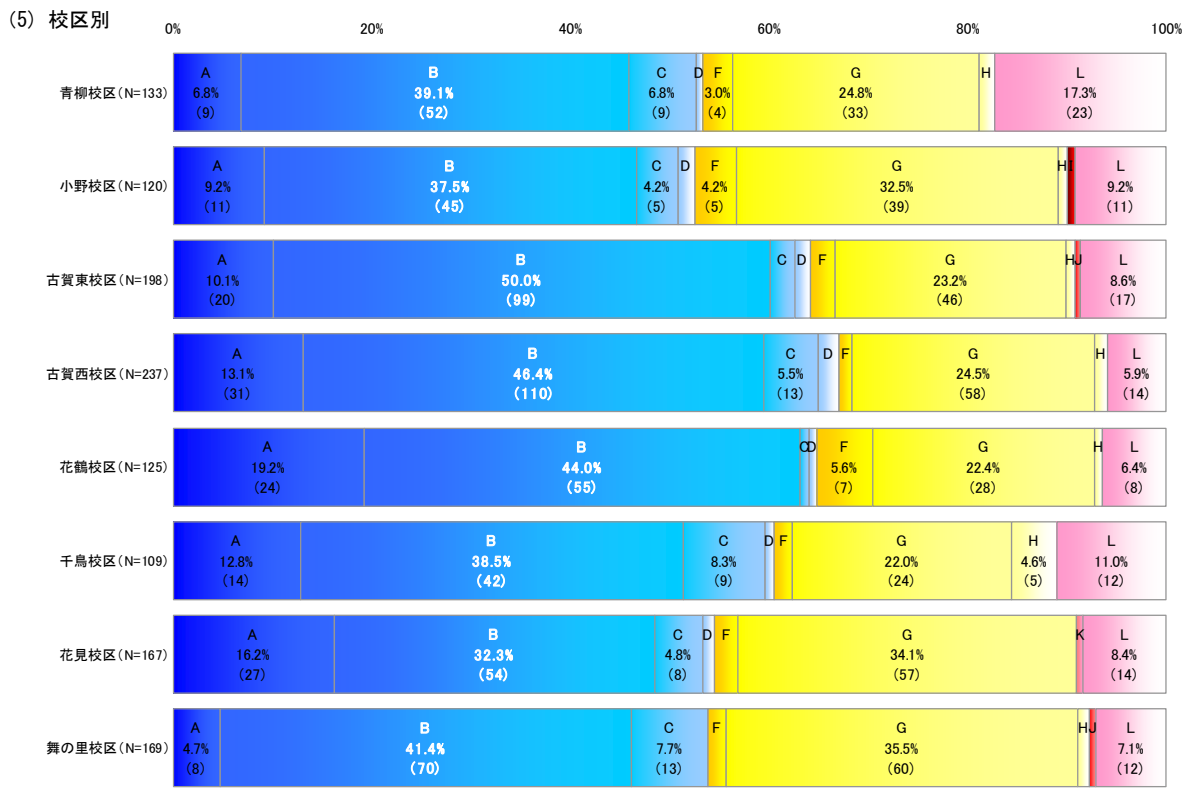
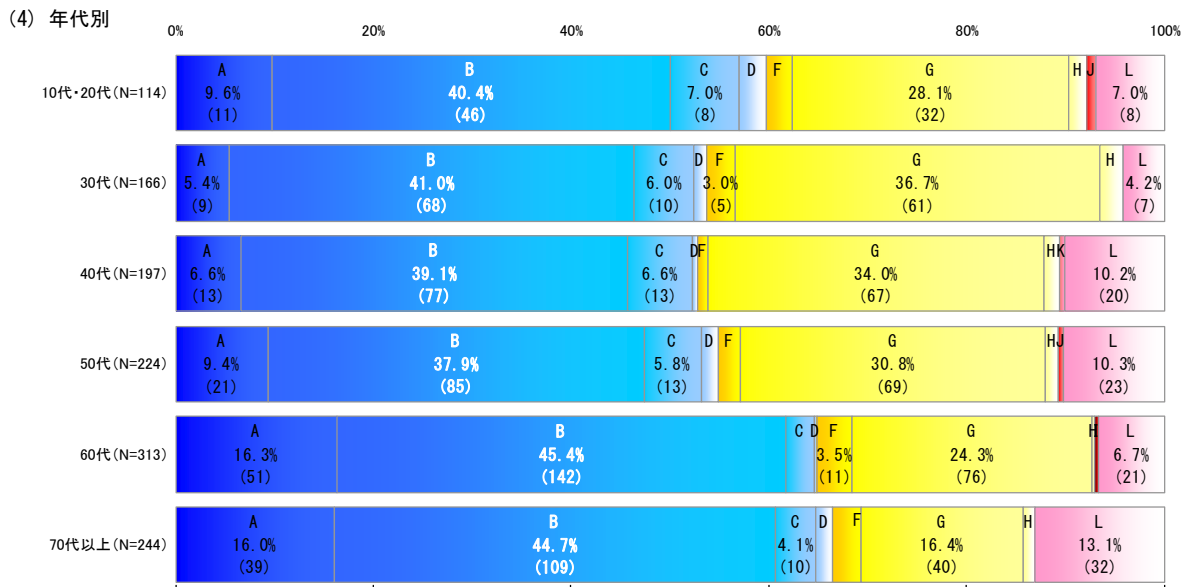
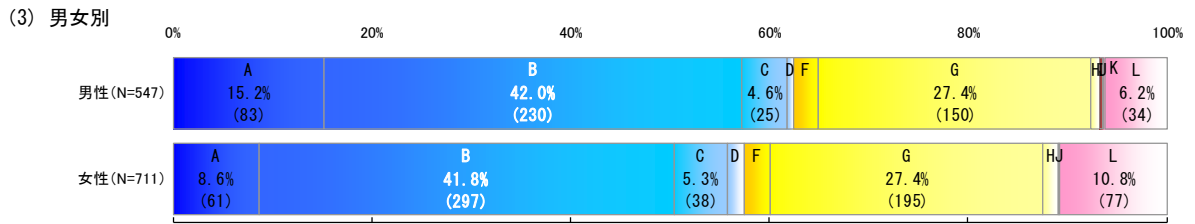
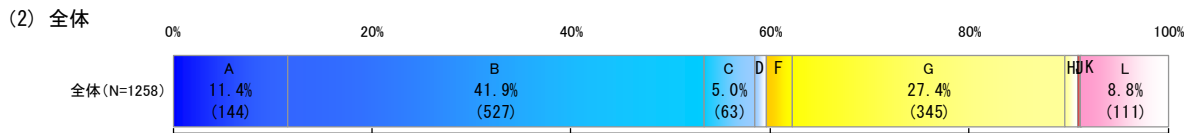


事業の満足度について
満足度（加重平均） 2.77 ポイント

事業の必要性について
「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 59.5%
「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 31.3%
「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 9.2%

事業の方向性について
「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 11.5%
「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 44.7%
「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 32.5%
「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 11.3%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

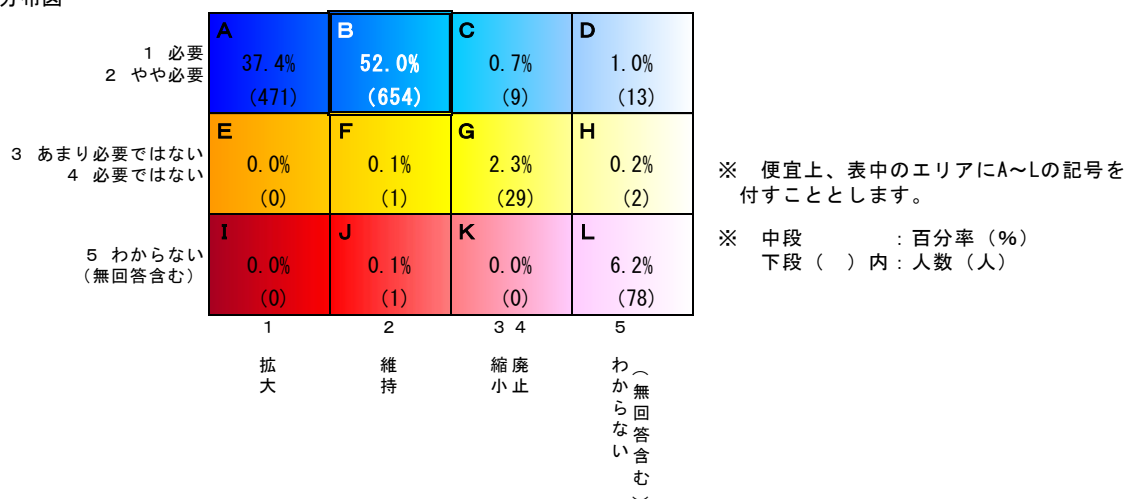
12 任意予防接種事業		この事業の必要性は？		人数	百分率
●事業目的 各種予防接種の接種率向上のため、「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」「子宮頸がん予防ワクチン」の任意予防接種に対し補助を行うことで、感染症・疾病予防環境の充実をめざします。	●事業内容 0歳から4歳までを対象に「ヒブワクチン」および「小児用肺炎球菌ワクチン」の無料接種を、中学1年生から高校1年生までを対象に「子宮頸がん予防ワクチン」の無料接種を実施しました。対象者には個別に通知を行い、予防接種の促進を行いました。	1 必要	935	74.3	
		2 やや必要	212	16.9	
		3 あまり必要ではない	17	1.4	
		4 必要ではない	15	1.2	
		5 わからない(無回答含む)	79	6.3	
		(計)	1,258	100	
		この事業の方向性は？		人数	百分率
		1 拡大	471	37.4	
		2 維持	656	52.1	
		3 縮小	21	1.7	
4 廃止	17	1.4			
5 わからない(無回答含む)	93	7.4			
	(計)	1,258	100		

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント(満点)中、4.15ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く91.1%でした。

満足度分布

(1) 分布図

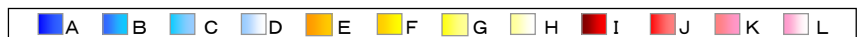
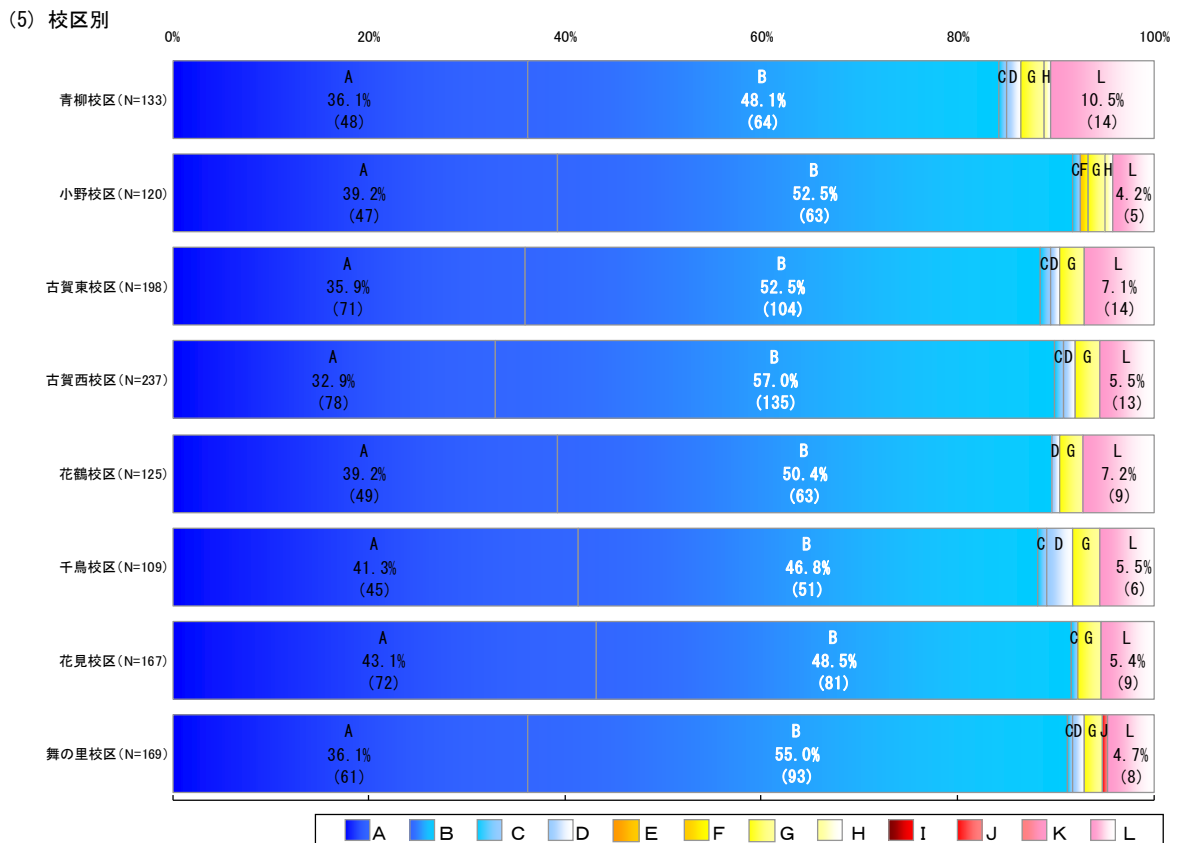
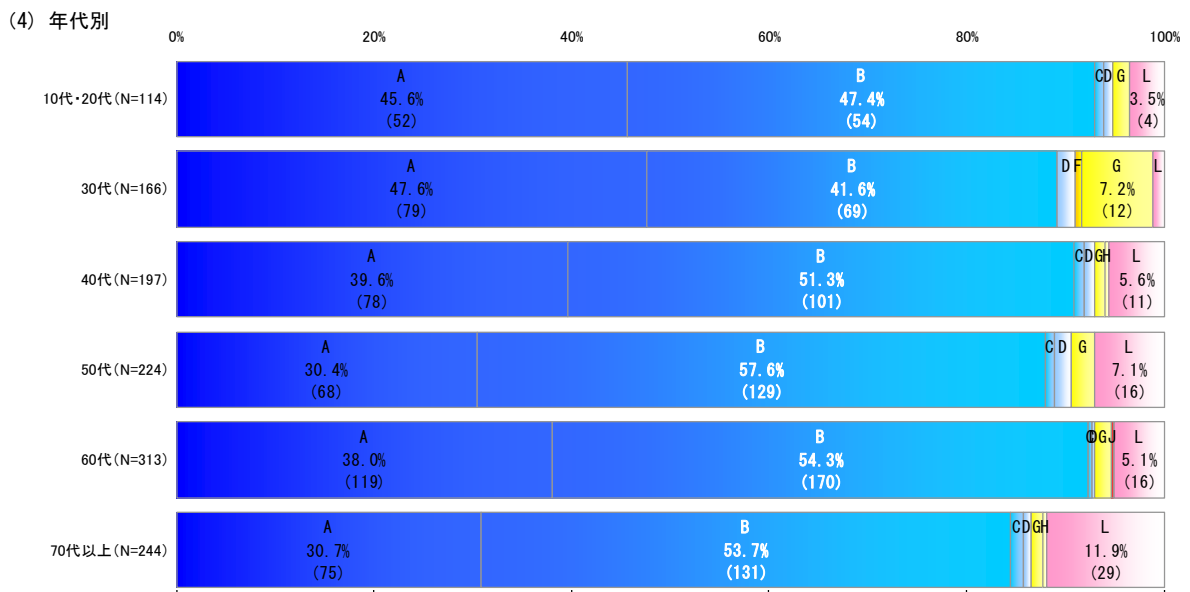
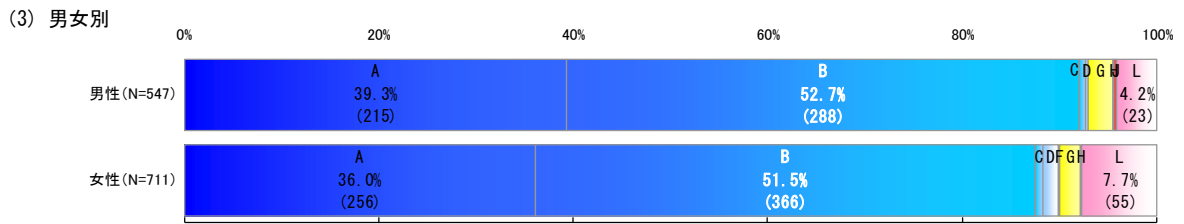
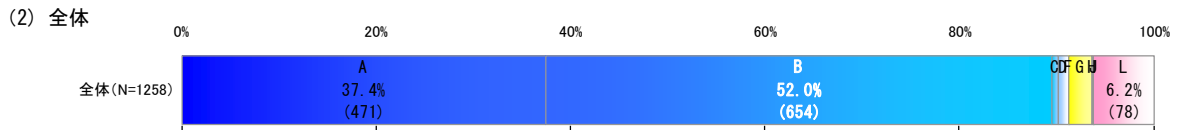


事業の満足度について
満足度(加重平均) 4.15 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合(A+B+C+D) 91.1%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合(E+F+G+H) 2.6%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(I+J+K+L) 6.3%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合(A+E+I) 37.4%
 「維持」と回答した市民の割合(B+F+J) 52.2%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合(C+G+K) 3.0%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(D+H+L) 7.4%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

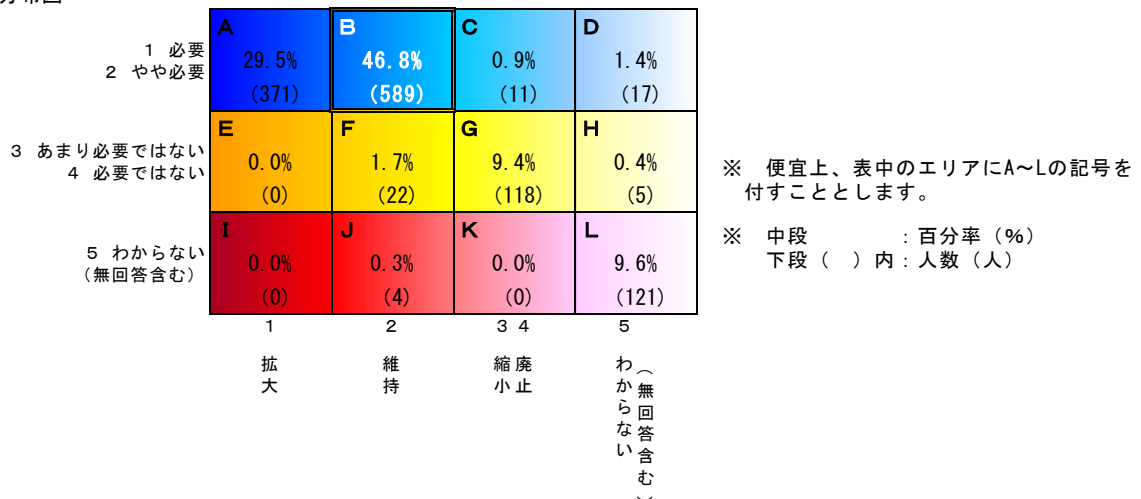
13 地域健康づくり介護予防運動推進事業				
●事業目的 介護予防の普及啓発を図るため、地域で自主的に介護予防ができる環境の整備に取り組みます。 ●事業内容 「玄米ニギニギ体操」や「ボール運動」など行う地域の運動教室の推進役となる「健康づくり運動サポーター」の養成や連絡会の実施、地域の健康教室の立ち上げや活動支援などを行っています。また、地域や自宅で「玄米ニギニギ体操」や「ボール運動」が気軽にできるように、CDやDVD、リーフレットを作成し、地域の運動教室参加者や希望者に配布しています。 ●事業に使ったお金 総事業費 49万円 (事業費 18万円、人件費 31万円) (国・県の補助金を含めると165万円) 市民一人あたりの負担額 8円	この事業の必要性は？		人数	百分率
	1 必要	594	47.2	
	2 やや必要	394	31.3	
	3 あまり必要ではない	106	8.4	
	4 必要ではない	39	3.1	
	5 わからない(無回答含む)	125	9.9	
	(計)	1,258	100	
	この事業の方向性は？		人数	百分率
	1 拡大	371	29.5	
	2 維持	615	48.9	
3 縮小	88	7.0		
4 廃止	41	3.3		
5 わからない(無回答含む)	143	11.4		
(計)	1,258	100		

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント(満点)中、3.61ポイントでした。事業の重要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く78.6%でした。事業の方向性では、「拡大」と回答した市民が多く29.5%でした。

満足度分布

(1) 分布図

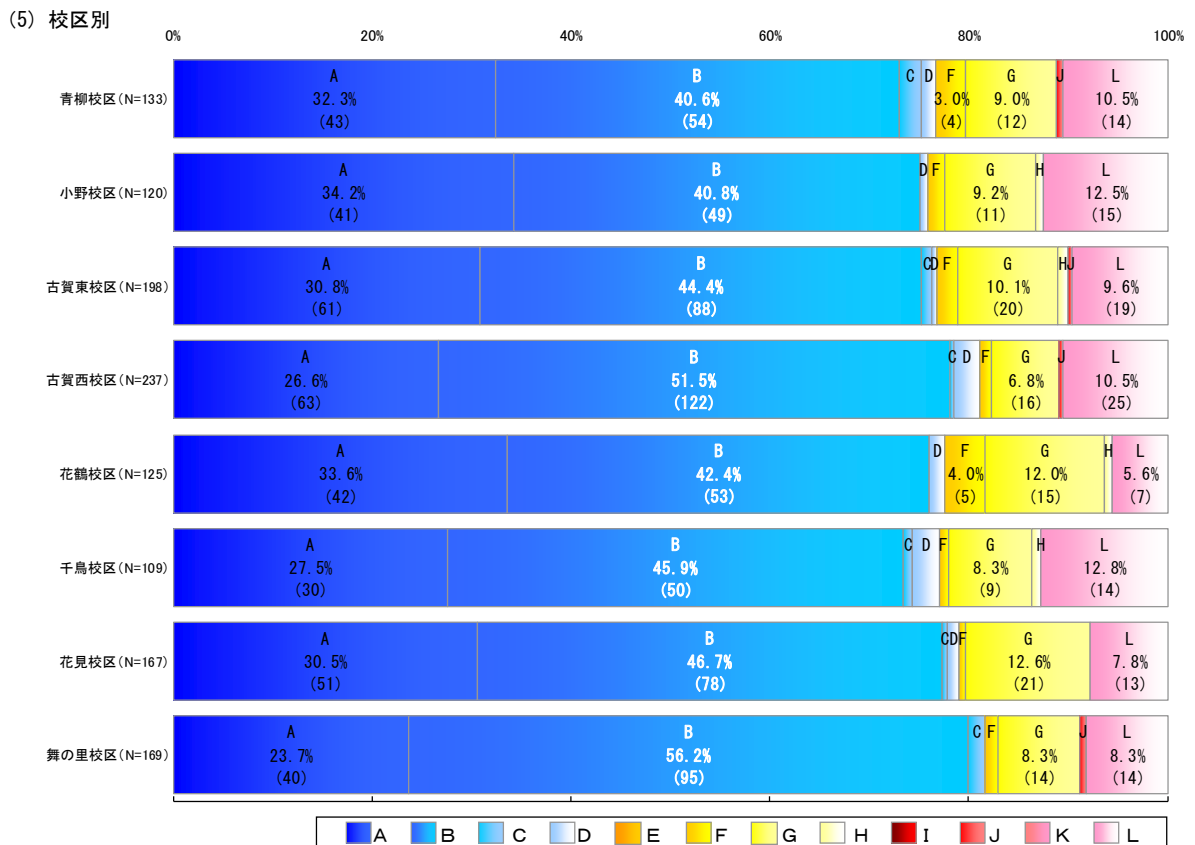
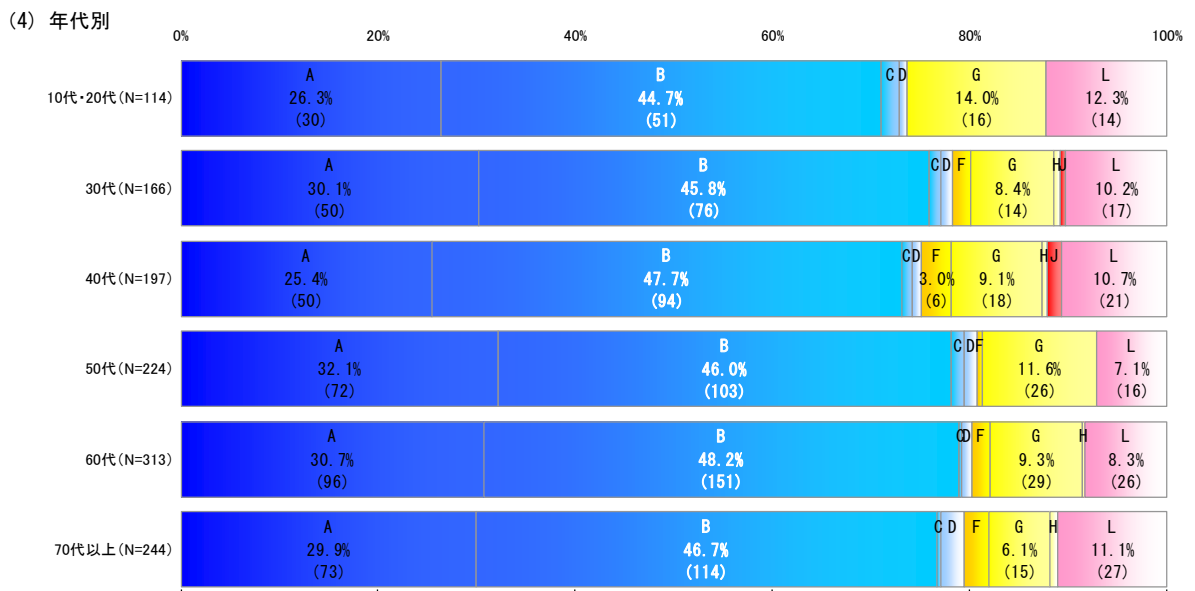
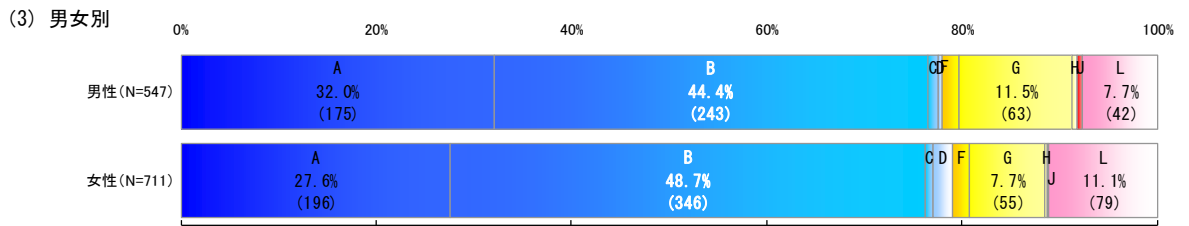
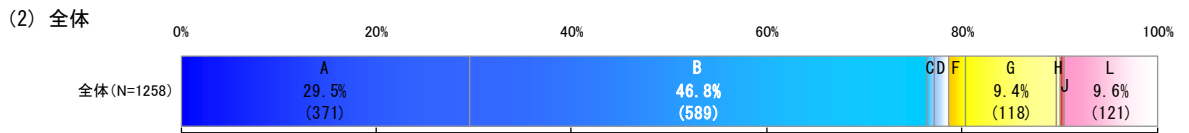


事業の満足度について
満足度(加重平均) 3.61 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合(A+B+C+D) 78.6%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合(E+F+G+H) 11.5%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(I+J+K+L) 9.9%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合(A+E+I) 29.5%
 「維持」と回答した市民の割合(B+F+J) 48.8%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合(C+G+K) 10.3%
 「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(D+H+L) 11.4%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

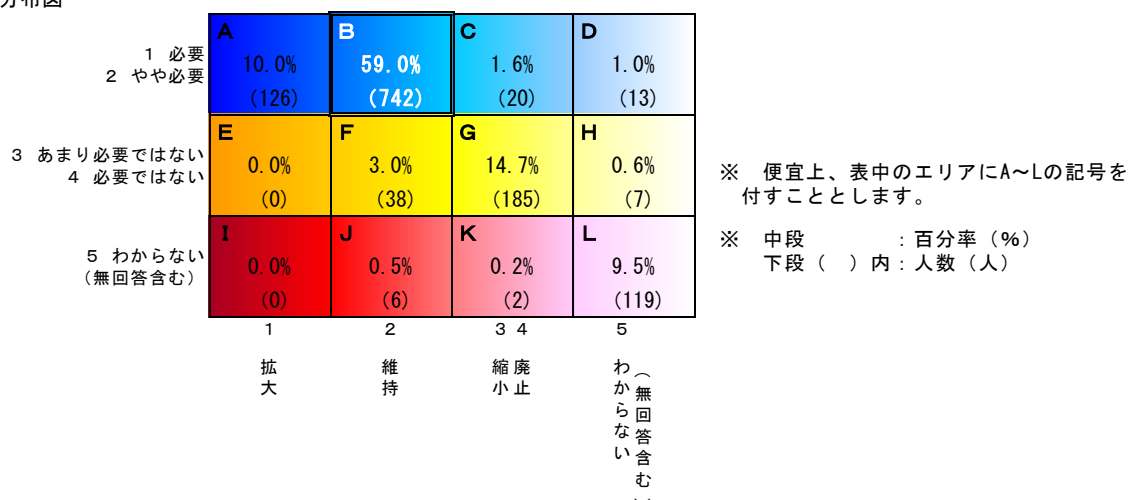
14 文化芸術推進事業（童謡まつり・芸術祭・文化祭）				
●事業目的 文化芸術活動の充実を図るため、すべての市民が生活の中に文化的な潤いを感じることのできる住みよいまちづくりをめざしています。	この事業の必要性は？		人数	百分率
	1 必要		392	31.2
	2 やや必要		509	40.5
	3 あまり必要ではない		193	15.3
	4 必要ではない		37	2.9
	5 わからない(無回答含む)		127	10.1
		(計)	1,258	100
	この事業の方向性は？		回答者	百分率
	1 拡大		126	10.0
	2 維持		786	62.5
3 縮小		169	13.4	
4 廃止		38	3.0	
5 わからない(無回答含む)		139	11.0	
	(計)	1,258	100	
●事業に使ったお金 総事業費 321万円 （事業費 300万円、人件費 21万円） 市民一人あたりの負担額 55円				

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、3.46ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く71.6%でした。事業の方向性では、「維持」と回答した市民は多く62.5%でした。

満足度分布

(1) 分布図



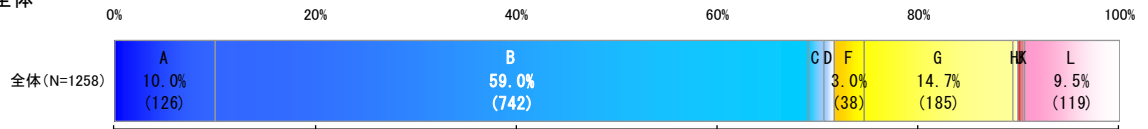
事業の満足度について
満足度（加重平均） 3.46 ポイント

事業の必要性について
 「必要」「やや必要」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 71.6%
 「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 18.3%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 10.2%

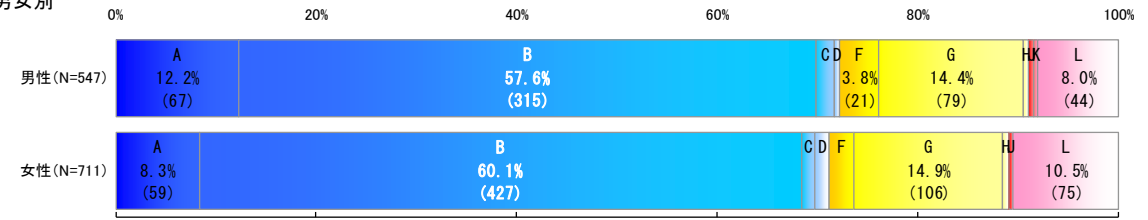
事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 10.0%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 62.5%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 16.5%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 11.1%

男女別、年代別、校区別にA～Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。

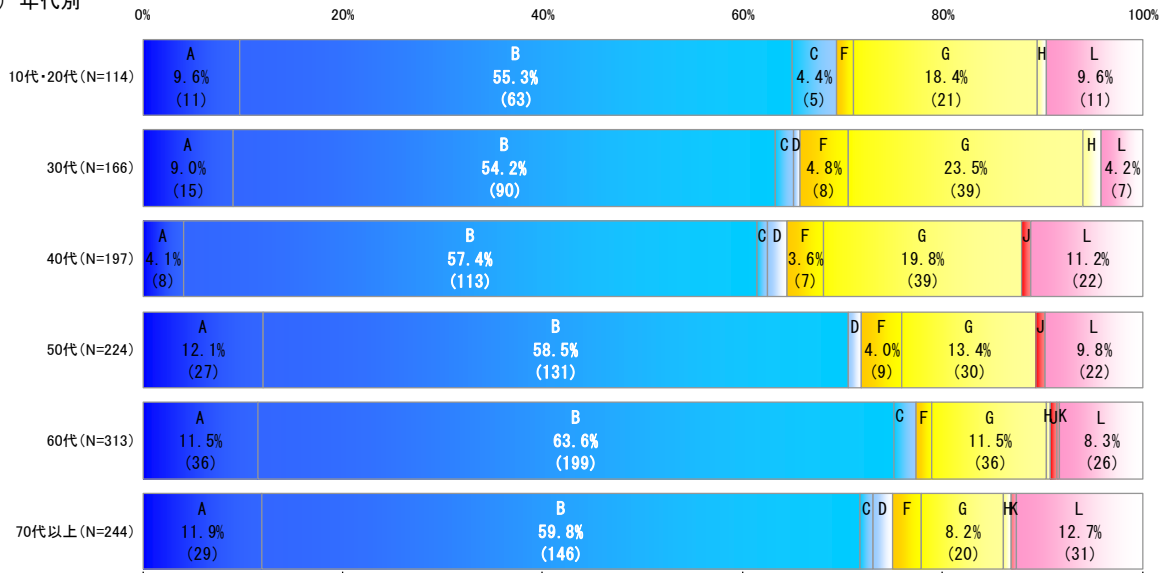
(2) 全体



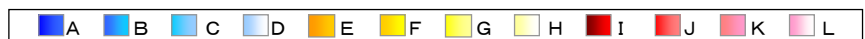
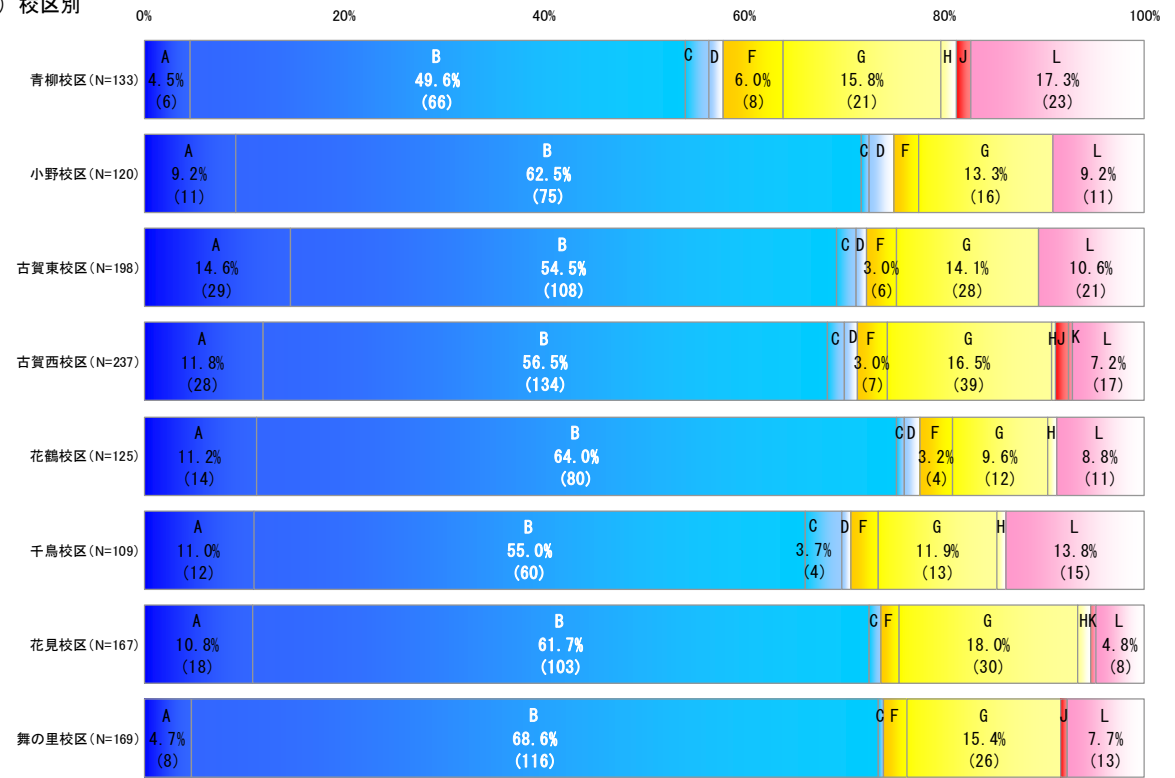
(3) 男女別



(4) 年代別



(5) 校区別



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

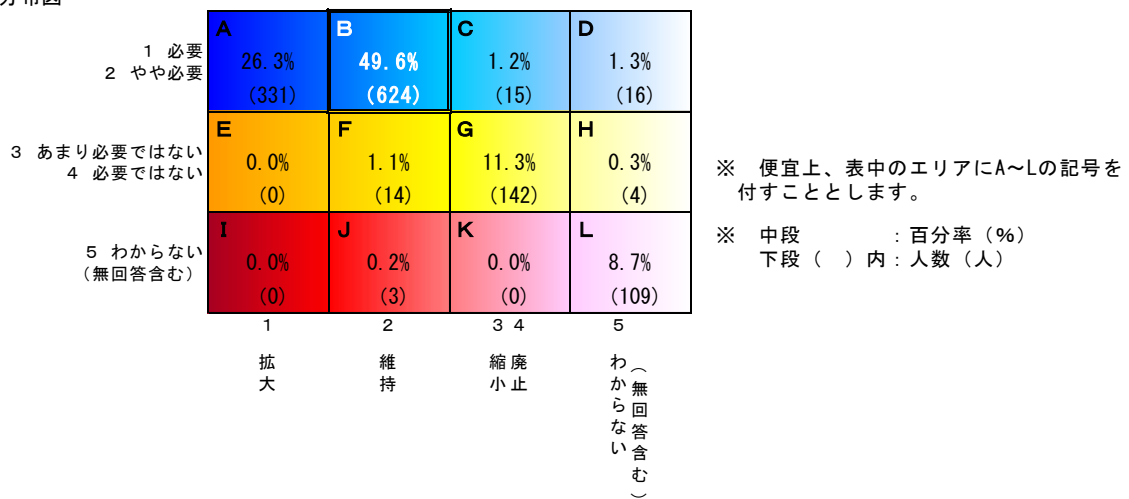
15 子ども体力づくり推進事業		この事業の必要性は？		人数	百分率
●事業目的 子どもの体力向上を図るため、学校や地域、スポーツ団体など関係機関と連携・協力し、児童・生徒の基礎体力養成に取り組んでいます。	1 必要	592	47.1		
	2 やや必要	394	31.3		
	3 あまり必要ではない	117	9.3		
	4 必要ではない	43	3.4		
	5 わからない(無回答含む)	112	8.9		
	(計)	1,258	100		
●事業内容 全小学校で、運動場の地域開放日の設定及び低・高学年別に「こがっ子元気アップチャレンジ(基礎体力養成運動)」を実施しています。また、「子ども体力向上フォーラム」を開催し、子どもの体力づくりの問題や課題についての講演会も行っています。	この事業の方向性は？		人数	百分率	
	1 拡大	331	26.3		
	2 維持	641	51.0		
	3 縮小	108	8.6		
	4 廃止	49	3.9		
	5 わからない(無回答含む)	129	10.3		
	(計)	1,258	100		
●事業に使ったお金 総事業費 357万円 (事業費 131万円、人件費 226万円) 市民一人あたりの負担額 61円					

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント(満点)中、3.62ポイントでした。事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く78.4%でした。

満足度分布

(1) 分布図

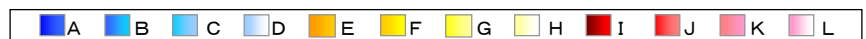
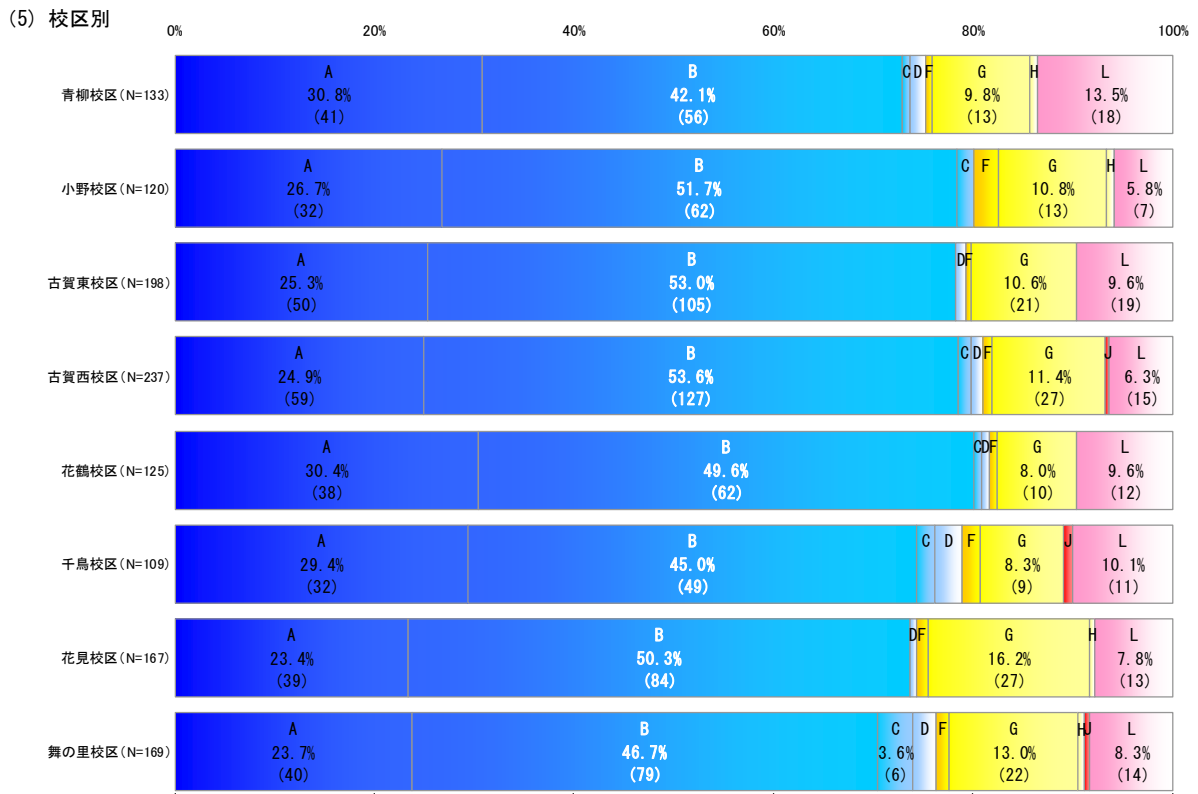
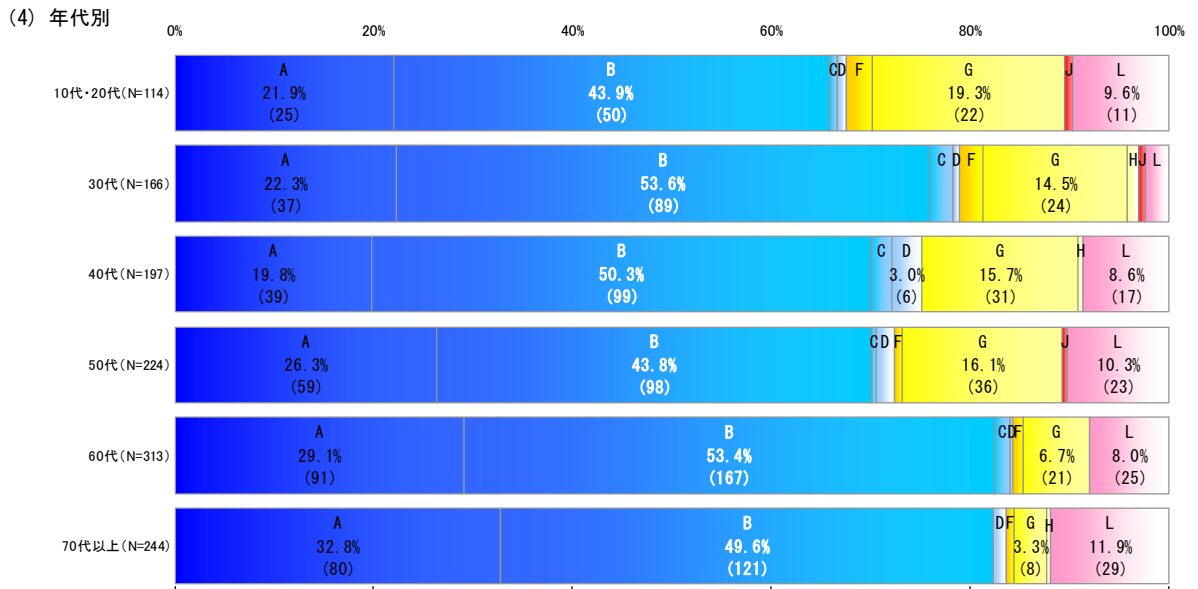
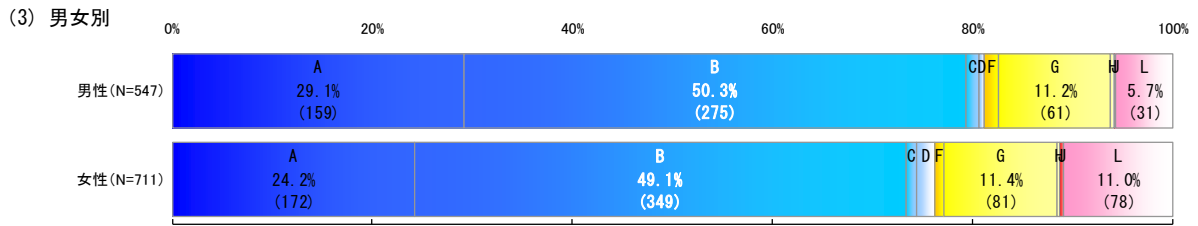
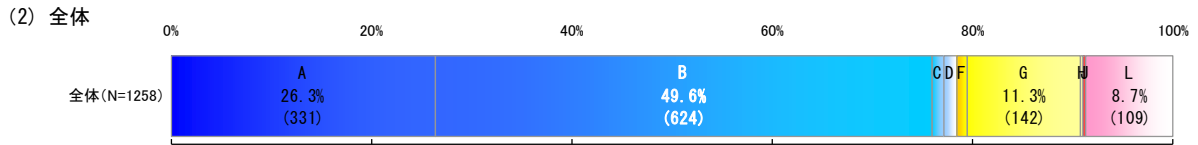


事業の満足度について
満足度(加重平均) 3.62 ポイント

事業の必要性について
「必要」「やや必要」と回答した市民の割合(A+B+C+D) 78.4%
「あまり必要ではない」「必要ではない」と回答した市民の割合(E+F+G+H) 12.7%
「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(I+J+K+L) 8.9%

事業の方向性について
「拡大」と回答した市民の割合(A+E+I) 26.3%
「維持」と回答した市民の割合(B+F+J) 50.9%
「縮小」「廃止」と回答した市民の割合(C+G+K) 12.5%
「わからない」と回答した市民の割合(無回答含む)(D+H+L) 10.3%

男女別、年代別、校区別にA~Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

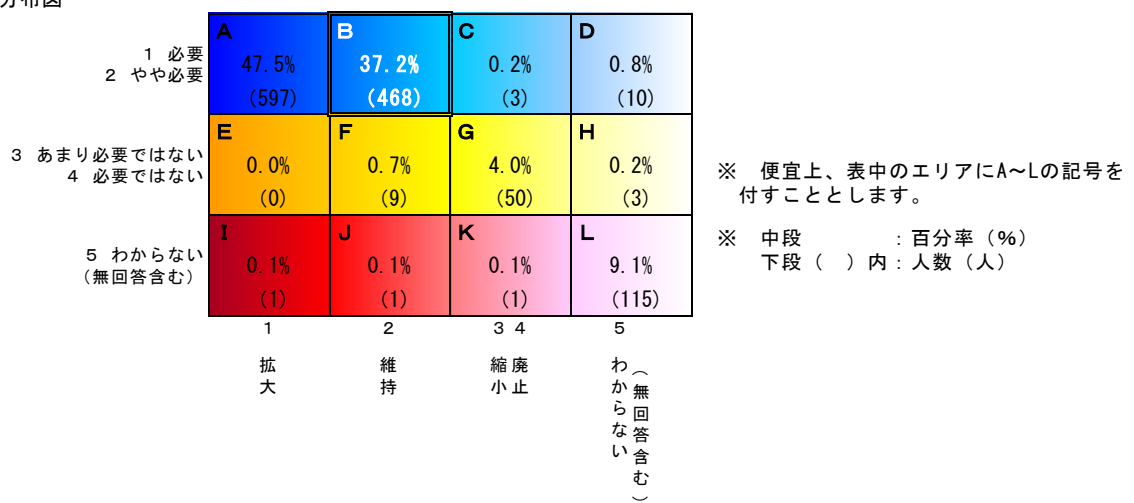
16 高齢者介護支援ボランティア活動支援事業		この事業の必要性は？		人数	百分率
●事業目的 高齢者の社会参加促進を支援するため、高齢者がボランティア活動を通じて、生きがいづくりや地域貢献を行い、いつまでも元気に暮らせる環境の整備に取り組んでいます。	1 必要	784	62.3		
	2 やや必要	294	23.4		
	3 あまり必要ではない	35	2.8		
	4 必要ではない	27	2.1		
	5 わからない(無回答含む)	118	9.4		
		(計)	1,258	100	
●事業内容 登録をした65歳以上の市民が、市内の介護施設などでボランティア活動を行い、その実績に応じて付与されるポイントを換金することで年間最大5,000円の交付金を受け取ることができる「介護ボランティア制度」を行っています。	この事業の方向性は？		人数	百分率	
	1 拡大	598	47.5		
	2 維持	478	38.0		
	3 縮小	25	2.0		
	4 廃止	29	2.3		
5 わからない(無回答含む)	128	10.2			
		(計)	1,258	100	
●事業に使ったお金					
総事業費	14万円				
	(事業費 2万円、人件費 12万円)				
	(国・県の補助金等を含めると112万円)				
市民一人あたりの負担額	2円				

満足度の分析

分析した結果、市民の満足度は高く、5ポイント（満点）中、3.80ポイントでした。
 事業の必要性では、「必要」「やや必要」と回答した市民は非常に多く85.7%でした。校区別にみると、花鶴校区と千鳥校区では、10%以上の開きがあります。
 事業の方向性では、「拡大」と回答した市民が多く47.6%でした。

満足度分布

(1) 分布図

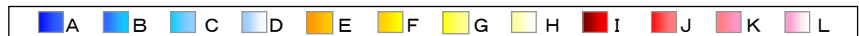
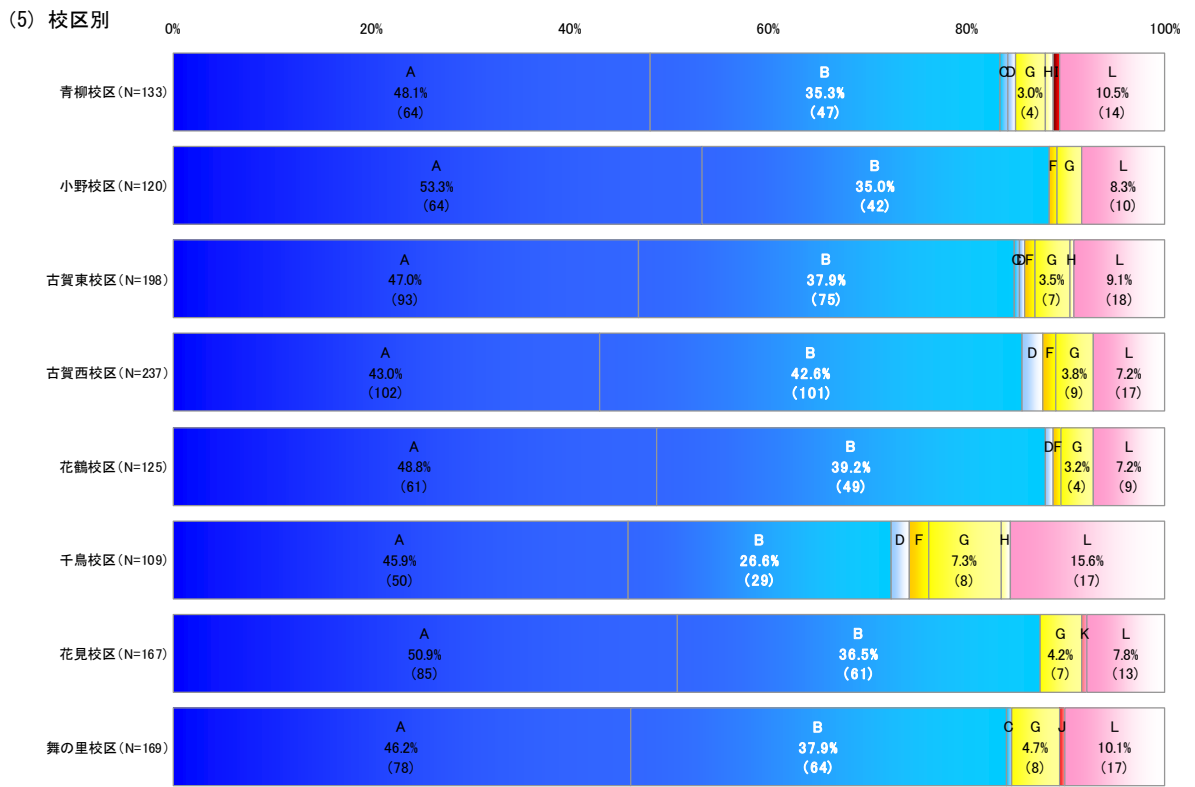
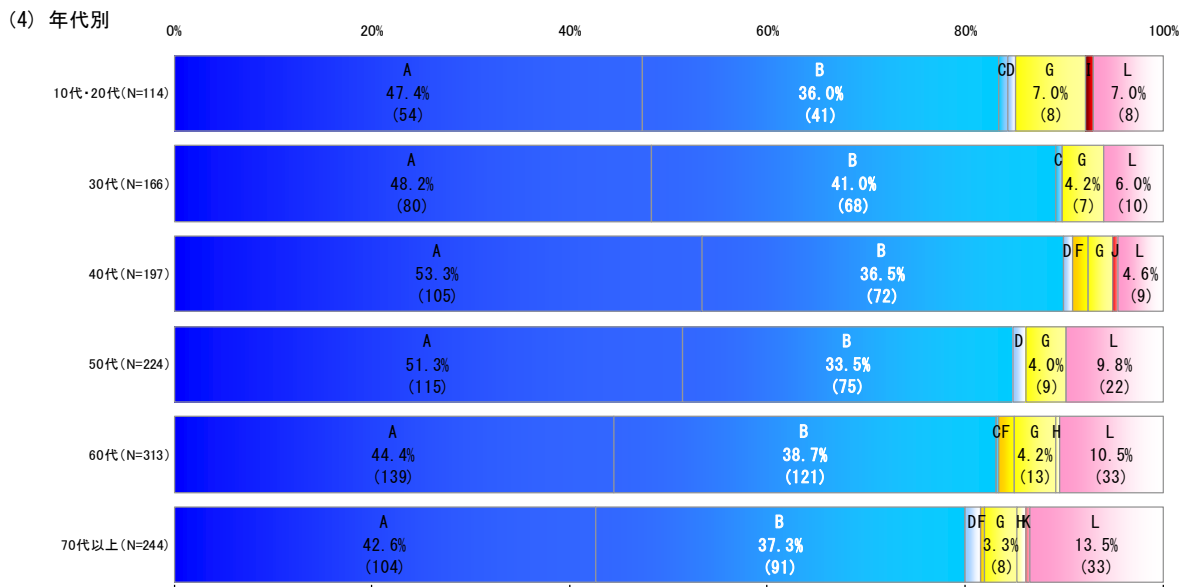
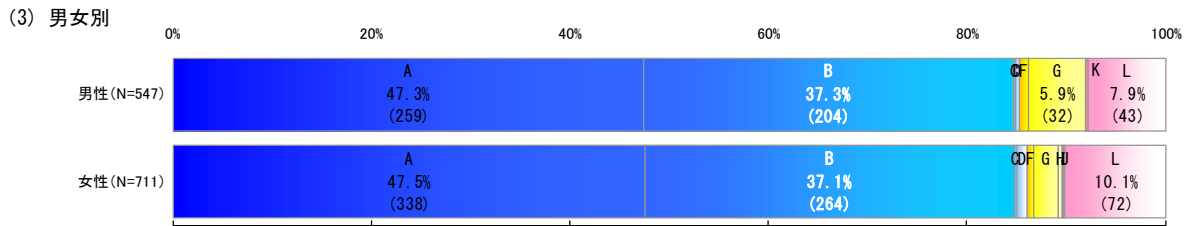
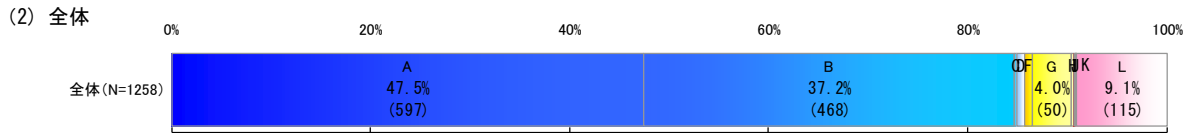


事業の満足度について
 満足度（加重平均） 3.80 ポイント

事業の必要性について
 「非常に重要」「重要である」と回答した市民の割合（A+B+C+D） 85.7%
 「あまり重要でない」「重要でない」と回答した市民の割合（E+F+G+H） 4.9%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（I+J+K+L） 9.4%

事業の方向性について
 「拡大」と回答した市民の割合（A+E+I） 47.6%
 「維持」と回答した市民の割合（B+F+J） 38.0%
 「縮小」「廃止」と回答した市民の割合（C+G+K） 4.3%
 「わからない」と回答した市民の割合（無回答含む）（D+H+L） 10.1%

男女別、年代別、校区別にA～Lの各エリアに占める人数、割合をグラフにすると次ページのとおりです。



中段：百分率(%) 下段()内：人数
 ※但し、率3%未満の項目については記載略

満足度一覧（性別・年代別）

（左：満足度(ポイント) 右：満足度の順位）

事業番号	事業名	全体		性別		年代別													
				男性	女性	10代・20代		30代		40代		50代		60代		70代以上			
						満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位		
1	学校給食地産地消促進事業	3.43	12	3.28	12	3.55	10	3.77	6	3.84	9	3.75	9	3.43	11	3.13	12	3.13	12
2	K-1（古賀の一品）グランプリ事業	2.73	15	2.73	15	2.73	14	2.85	14	2.79	14	2.82	14	2.79	14	2.75	15	2.47	15
3	特産品PR活動支援事業	3.73	8	3.76	8	3.70	8	3.64	9	4.03	7	3.88	8	3.75	8	3.77	8	3.36	11
4	小中学生の体験学習事業	4.02	6	3.97	6	4.07	3	3.75	7	4.23	3	4.14	5	3.97	6	4.08	5	3.90	4
5	乳幼児・子ども医療事業	4.11	3	4.20	2	4.04	4	4.01	3	4.08	5	4.18	3	4.24	1	4.22	2	3.87	6
6	古賀市元気な子どもづくり事業	4.03	5	4.04	5	4.03	5	3.91	4	4.11	4	3.99	7	4.09	4	4.12	3	3.92	3
7	学童保育所整備事業	4.05	4	4.08	4	4.03	5	3.91	4	4.24	2	4.17	4	4.01	5	4.09	4	3.88	5
8	エネファーム普及促進事業	2.89	13	2.91	13	2.88	13	3.27	12	3.23	12	3.06	13	2.82	13	2.81	14	2.52	14
9	災害対策用品管理事業	4.16	1	4.15	3	4.17	1	4.25	1	4.35	1	4.29	1	4.15	3	4.02	6	4.09	1
10	人権のまちづくり推進事業	2.12	16	2.09	16	2.14	16	2.38	16	2.55	15	2.36	16	2.21	16	1.57	16	2.14	16
11	市民ウォーキング事業	2.77	14	2.89	14	2.67	15	2.73	15	2.51	16	2.44	15	2.53	15	3.05	13	3.07	13
12	任意予防接種事業	4.15	2	4.23	1	4.09	2	4.25	1	4.04	6	4.2	2	4.17	2	4.26	1	3.98	2
13	地域健康づくり介護予防運動推進事業	3.61	10	3.57	10	3.64	9	3.37	10	3.59	11	3.51	10	3.67	9	3.70	11	3.64	8
14	文化芸術推進事業（童謡まつり・芸術祭・文化祭）	3.46	11	3.48	11	3.45	12	3.30	11	3.19	13	3.17	12	3.50	10	3.73	9	3.59	10
15	子ども体力づくり推進事業	3.62	9	3.75	9	3.52	11	3.16	13	3.69	10	3.46	11	3.32	12	3.90	7	3.84	7
16	高齢者介護支援ボランティア活動支援事業	3.80	7	3.78	7	3.81	7	3.75	7	3.99	8	4.01	6	3.77	7	3.73	9	3.62	9
平均値		3.54		3.56		3.53		3.52		3.65		3.59		3.53		3.56		3.44	



満足度の高い三事業（1位 2位 3位 ）
 満足度の低い三事業（1位 2位 3位 ）

同数のため、順位が重複するものがあります。

満足度一覧（校区別）

（左：満足度(ポイント) 右：満足度の順位）

事業番号	事業名	全体		校 区 別															
		満足度	順位	青柳校区	小野校区	古賀東校区	古賀西校区	花鶴校区	千鳥校区	花見校区	舞の里校区								
1	学校給食地産地消促進事業	3.43	12	3.77	6	3.41	12	3.39	12	3.54	11	3.19	12	3.06	12	3.46	12	3.69	9
2	K-1（古賀の一品）グランプリ事業	2.73	15	2.85	14	3.08	13	2.76	15	2.69	15	2.76	14	2.56	15	2.54	14	2.63	14
3	特産品PR活動支援事業	3.73	8	3.64	9	3.88	7	3.66	9	3.70	10	3.93	7	3.30	10	3.98	6	3.48	11
4	小中学生の体験学習事業	4.02	6	3.75	7	3.83	8	4.13	2	4.18	3	4.2	1	3.73	6	3.83	8	4.23	4
5	乳幼児・子ども医療事業	4.11	3	4.01	3	4.28	1	4.10	4	4.09	6	4.06	3	3.92	5	4.2	1	4.31	1
6	古賀市元気な子どもづくり事業	4.03	5	3.91	4	4.18	4	3.94	6	4.18	3	3.96	5	4.03	3	4.16	4	4.06	5
7	学童保育所整備事業	4.05	4	3.91	4	4.22	3	4.08	5	4.14	5	3.86	8	4.08	2	4.08	5	4.02	6
8	エネファーム普及促進事業	2.89	13	3.27	12	2.91	14	2.77	14	2.97	14	2.74	15	2.74	13	2.86	13	3.12	13
9	災害対策用品管理事業	4.16	1	4.26	1	4.16	5	4.21	1	4.25	1	4.01	4	3.95	4	4.17	2	4.25	2
10	人権のまちづくり推進事業	2.12	16	2.38	16	2.13	16	2.2	16	2.21	16	2.3	16	2.1	16	2	16	2.01	16
11	市民ウォーキング事業	2.77	14	2.73	15	2.46	15	3.06	13	3.08	13	3.07	13	2.73	14	2.47	15	2.51	15
12	任意予防接種事業	4.15	2	4.24	2	4.23	2	4.12	3	4.23	2	4.11	2	4.1	1	4.17	2	4.25	2
13	地域健康づくり介護予防運動推進事業	3.61	10	3.37	10	3.45	11	3.53	10	3.74	9	3.55	11	3.51	8	3.62	9	3.83	7
14	文化芸術推進事業（童謡まつり・芸術祭・文化祭）	3.46	11	3.30	11	3.62	10	3.43	11	3.43	12	3.75	9	3.36	9	3.57	10	3.67	10
15	子ども体力づくり推進事業	3.62	9	3.16	13	3.73	9	3.70	8	3.76	8	3.75	9	3.59	7	3.48	11	3.48	11
16	高齢者介護支援ボランティア活動支援事業	3.80	7	3.75	7	3.89	6	3.81	7	3.93	7	3.94	6	3.24	11	3.86	7	3.76	8
平均値		3.54		3.52		3.59		3.56		3.63		3.57		3.38		3.53		3.58	

満足度の高い三事業（1位  2位  3位 ）
 満足度の低い三事業（1位  2位  3位 ）

同数のため、順位が重複するものがあります。

(3) 調査結果のまとめ

満足度の高い事業は「災害対策用品管理事業」、「任意予防接種事業」、「乳幼児・子ども医療事業」等でした。

逆に満足度の低い事業は「人権のまちづくり推進事業」、「K-1（古賀の一品）グランプリ事業」、「市民ウォーキング事業」等でした。

年代別の特徴として、「学校給食地産地消促進事業」では、若い世代において比較的満足度が高く、年齢が高くなるにつれて満足度が低い結果となりました。「子ども体力づくり推進事業」では、60代・70代で比較的満足度が高い一方、年齢が低くなるにつれて満足度が低い結果となりました。

地域別の特徴として、「学校給食地産地消促進事業」、「小中学生の体験学習事業」、「子ども体力づくり推進事業」では、満足度の順位に差が出る結果となりました。

IV. 調査結果の反映について

今回の調査において、それぞれの事業に対する市民の満足度を把握することができました。

市は、市民の満足度の高い市政運営を行っていくことが求められています。

現在、市では、市が実施した事業の必要性、効率性、成果を評価・検証し、今後の事業展開の改善を図っていく「行政評価」を行っております。今回の調査結果は、この「行政評価」の参考資料として活用し、より効率的に事業展開を図るよう改善を行いながら、満足度の高い市政運営を行って参ります。

参考資料

アンケート調査票

次のページから